



*Ultra WIDE SCSI  
PCI BOARD  
REX-PCI32*

For DOS/V and PC-98  
ユーザーズマニュアル



1998年 5月  
第 1.1 版

# 目次

## ユーザーズマニュアル

はじめに	1
ご注意	1
製品の特徴	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本文中の記号説明	2
製品に関するお問い合わせ	4
<b>1 . REX-PCI32 について</b>	<b>1-1</b>
対応パソコン	1-1
対応 OS(オペレーティングシステム)	1-2
添付品について	1-2
添付のソフトウェアについて	1-3
制限	1-4
ドライバディスクの変更 (PC-9821 の Windows 95/98)	1-5
空きの IRQ を確認する	1-6
Windows 95/98 の場合	1-6
Windows NT の場合	1-7
DOS/Windows 3.1 システムの場合	1-8
<b>2 . SCSI ボードのセットアップ</b>	<b>2-1</b>
接続できる台数とケーブルの長さ	2-4
<b>3 . パソコンの PCI バスの確認・設定</b>	<b>3-1</b>
PCI バスの確認 (DOS/V)	3-1
PCI バスの確認 (PC-9821)	3-2
<b>4 . SCSI コンフィギュレーションの設定</b>	<b>4-1</b>
DOS/V の SCSI-BIOS メニュー	4-1
PC-9821 の SCSI-BIOS メニュー	4-7
<b>5 . Windows 95/98 インストール済みにて使用する</b>	<b>5-1</b>
Windows 95 ミニポートドライバのインストール	5-1
Windows 98 ミニポートドライバのインストール	5-4
Windows 95/98 ミニポートドライバのインストール確認	5-9
SCSI 機器の確認	5-12
ドライバの削除	5-13
ドライバファイルと INF ファイルの削除	5-13
レジストリの削除	5-15
ドライブの確認	5-16
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	5-19

# 目次

<b>6</b>	<b>. 新たに Windows 95/98 をインストールする</b>	<b>6-1</b>
	区画領域の作成	6-1
	DOS/V の場合	6-2
	PC-9821 の場合	6-3
	DOS/Windows 3.1 のインストール	6-4
	DOS/V の場合	6-4
	PC-9821 の場合	6-5
	Windows 3.1 環境の確認	6-6
	SCSI CD-ROM を利用可能に	6-7
	CD-ROM ドライブの設定と接続	6-8
	CD-ROM ドライブが認識されない場合	6-9
	Windows 95/98 のインストール	6-10
	Windows 95/98 ミニポートドライバのインストール確認	6-12
	SCSI 機器の確認	6-13
	ドライバの削除	6-14
	ドライバファイルと INF ファイルの削除	6-14
	レジストリの削除	6-15
	ドライブの確認	6-16
<b>7</b>	<b>. Windows 95/98 での SCSI ユーティリティについて</b>	<b>7-1</b>
	SCSI ユーティリティのインストール	7-1
	REXFMT95 - Windows 95/98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ	7-2
	WinSSC - Windows 95/98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ	7-4
<b>8</b>	<b>. Windows NT インストール済みにて使用する</b>	<b>8-1</b>
	Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加	8-1
	ドライバ起動の確認	8-3
	ドライバの有効/無効の切り替え	8-5
	ハードディスクの使用方法	8-6
	光磁気ディスク (MO) の使用方法	8-6
	CD-ROM のドライブ名変更方法	8-6
	スワップファイルを SCSI ハードディスクに	8-8
<b>9</b>	<b>. 新たに Windows NT をインストールする</b>	<b>9-1</b>
	Windows NT4.0 のセットアップ開始	9-1
	REX-PCI32 ドライバのインストール	9-2
	ドライバ起動の確認	9-3
	ハードディスクの使用方法	9-4
	光磁気ディスク (MO) の使用方法	9-4
	CD-ROM のドライブ名変更方法	9-4

# 目次

<b>10</b>	<b>. DOS/Windows 3.1 で使用する</b>	<b>10-1</b>
	DOS システムのインストール (DOS/V)	10-1
	DOS システムのインストール (PC-9821)	10-2
	固定ディスク起動メニューについて (PC-9821)	10-3
	CONFIG.SYS の書き換え	10-3
	AUTOEXEC.BAT の書き換え	10-4
	Windows 3.1 で使用する	10-4
	ASP950.SYS - ASPI マネジャ	10-6
	ASP950.SYS の書式	10-6
	ASP950N.SYS - ASPI マネジャ	10-6
	ASP950N.SYS の書式	10-6
	REXCD.SYS - CD-ROM ドライバ	10-7
	REXCD.SYS の書式	10-7
	REXCD.SYS の表示メッセージ	10-8
	REXDISK.SYS - ハードディスク/MO ディスクドライバ	10-9
	サポートしているメディアについて	10-9
	REXDISK.SYS の書式とオプション	10-9
	PC-DOS J6.1/V での制限について	10-12
	REXDISK.SYS の表示メッセージ	10-12
	MSCDEX.EXE - CD-ROM エクステンション	10-13
	MSCDEX.EXE の書式とオプション	10-13
	MSCDEX.EXE の表示メッセージ	10-14
<b>11</b>	<b>. DOS 用 SCSI ユーティリティについて</b>	<b>11-1</b>
	REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド	11-1
	書式 1 - ハードディスクの初期化	11-1
	書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化	11-2
	書式 3 - 区画の確保	11-2
	書式 4 - 区画の削除	11-2
	書式 5 - 区画属性の変更	11-2
	SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド	11-2
<b>12</b>	<b>. 仕様について</b>	<b>12-1</b>
	REX-PCI32 SCSI・BUS 仕様	12-1
	REX-PCI32 環境仕様	12-1

# 目次

<b>13</b>	<b>. トラブルシューティング</b>	<b>13-1</b>
	Windows 98 の起動ディスクより SCSI CD-ROM を使う場合 (DOS/V)	13-1
	データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合	13-1
	IDE の CD-ROM が使えない場合	13-2
	SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合	13-2
	SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合	13-2
	FUJITSU MO(M2512A, M2513A) を使用の場合	13-3
	HD/MO のドライブアイコンが表示されない場合	13-3
	ドライバがインストールされていないとなる場合	13-3
	PC-9821 に接続したハードディスクの容量が正しく認識されない場合	13-4
	全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合	13-4
	DOS/Windows 3.1 で PD、Changer の一部が認識できない場合	13-4
	ドライブが割り当たらない場合	13-4
	その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合	13-5
	その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合	13-5
	PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	13-6
	PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合	13-6
	EMM386 no installed unable to set page frame base address となる場合	13-6
	SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	13-7
	SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合	13-7
	Windows 95 のドライバを間違えた場合	13-7
	SCSI-2 と表示される場合	13-8

## はじめに

このたびは REX-PCI32 Ultra WIDE SCSI ボードお買い上げ頂き誠にありがとうございます。今後もドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-PCI32の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-PCI32を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

## ご注意

- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・ 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・ SmartSCSIとはInitio Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ ASPIマネージャ、miniportドライバの著作権は、Initio Corporationにあります。
- ・ MS-DOS、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 製品の特徴

- ・ PCI ローカルバスインターフェース上で動作する Ultra WIDE SCSI ボードです。
- ・ 外部コネクタは、50pinを採用して従来の SCSI 機器をそのまま接続可能です。
- ・ パソコンとの転送は 32bit データバス、33MHz バスクロック、バスマスタ転送方式により最高 132MB/sec の転送を行います。
- ・ WIDE SCSI 機器との転送は同期転送で最高 40MB/sec (理論値) の転送を行います。
- ・ 将来の BIOS アップグレードに備え、書き換え可能な Flash メモリを採用しています。
- ・ SCSI 機器接続状態を自動検出、ターミネーション自動設定回路を採用しています。
- ・ 高速化の技術でマルチタスク、タグキュー、マルチスレッド、スキヤッタギャザー、ディスク接続/リコネクトをサポートしています。
- ・ SCSI-BIOS メニューより、ハードディスク、MO の物理フォーマットをサポートしています。

## はじめに

### 安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザーズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味を理解してからお読みください。

### 本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



 分解禁止：発火のおそれがあります

ボードの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。



パソコン本体の電源をオンのまま、REX-PCI32 の抜き差しをしないでください。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。  
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。  
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。  
故障するおそれがあります。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場所

**製品に関するお問い合わせ**

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社  
サポートセンター  
〒556-0012  
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル  
TEL 06-633-6766 Free Dial 0120-033555(scsi専用)  
月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く  
FAXでの受付は24時間行っております。  
FAX 06-633-3553

インターネットのホームページでも最新の情報をお届けしております。

ラトックシステムのホームページ  
<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E  
(SPCVE)  
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

## 1. REX-PCI32 について

REX-PCI32はPCI Ultra WIDE SCSIホストアダプタボードです。パソコンにWIDE SCSI (68pin)のUltra WIDE SCSIハードディスクや、NARROW SCSI (50 pin)のCD-ROMドライブ、MO(光磁気)ディスクドライブ、ハードディスクユニット、スキャナ、フィルムスキャナ、CD-RなどのSCSI機器を接続するために使用します。

REX-PCI32にSCSI機器を接続して使用するには次のインストール作業が必要です。  
以下はDOS/VでのWindows 95の例です

### 1. SCSI 機器の接続

パソコン本体の電源が OFF になっていることを確認します。  
REX-PCI32 をパソコン本体の PCI スロットへ装着し、  
SCSI 機器の ID 等の設定、ケーブルの接続後、SCSI 機器の電源を入れます。そしてパソコンの電源を入れます。  
SCSI-BIOS スタート画面が表示されたら、すぐに <Cntl + I> を押して、接続機器を確認します。



### 2. ドライバのインストール

Windows 95 を起動して新しいハードウェアとして認識したら、添付フロッピーからドライバをインストールします。  
そして、Windows 95 を再起動して接続機器を認識させます。

詳しくは、本書の「Windows 95/98 インストール済みにて使用する」をご覧ください。

ただし、ご使用になる環境によりましては、本書の手順どおりにインストールできない場合がございますのであらかじめご了承ください。

## 対応パソコン

本製品は、PCIローカルバス2.1仕様以降のPCIボードスロットを装備している以下のパソコンに対応しています。

- ・ DOS/V ( PC/AT 互換機 )
- ・ NEC PC98-NXシリーズ
- ・ NEC PC-9821シリーズ

ただし、一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

NEC PC98-NXシリーズについては、DOS/V の記述を参照願います。

### 対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は以下のOSに対応しています。

- Windows 95 (Windows 3.1からのUpgradeを含む)
- Windows 95B (OSR2)
- Windows 98
- Windows NT 3.51およびNT 4.0
- DOS/Windows 3.1  
DOS/VではMS-DOS 5.0以上、PC-DOS 5.0以上  
PC-9821ではMS-DOS 5.0AH以上

### 添付品について

REX-PCI32にはSCSI ボード以外に以下のものが添付しています。不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

68 pin 内蔵接続用ケーブル	1
ドライバディスク	1
ユーザーズマニュアル	1
ご愛用者登録ハガキ / 保証書(注 1)	1

(注1) ご愛用者登録ハガキは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上必ずご返送ください。ご返送頂けない場合、バージョンアップ等のサポートサービスは受けられませんのでご注意ください。

(注2) SCSI ケーブルの 50pin 内蔵接続用ケーブル、外部接続用ケーブル、および外部ターミネータは添付しておりません。必要に応じてお求めください。

### 添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク（ドライバディスク）には次のソフトウェアが含まれます。

- Windows 95,95B(OSR2),98 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI32.MPD)
- Windows NT 用ミニポートドライバ(REXPCI32.SYS)
  
- DOS/Windows 3.1 用 DOS/V ASPI マネージャ(ASP950.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 PC-9821 ASPI マネージャ(ASP950N.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 DISK ドライバ(REXDISK.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 CD-ROM ドライバ(REXCD.SYS)
- Windows 3.1 用 Winaspi (WINASPI.DLL)
- Windows 3.1 用 インストーラ(SETUPW31.EXE)
  
- Windows 95/98 用 HD/MO 用フォーマッタ(REXFMT95.EXE)
- Windows 95/98 用接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC.EXE)
- Windows 95/98 用インストーラ(SETUP95.EXE)

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内の README ファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

**README ファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。**

### 制限

- SCSI ボードに複数の Ultra SCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長が 1.5m を越えないようにしてください。  
また、終端には必ずアクティブターミネータを接続してください。
- パソコン本体の割り込みが空いている必要があります。  
詳しくは、「空きの IRQ を確認する」を参照してください。
- DOS/V の環境で使用していた容量 512MB 以下の SCSI ハードディスクは、再フォーマットが必要な場合があります。
- REXFMT95、REXFMT ではブートディスクの作成はできません。
- PC-9821 の OD-502 互換モードは、サポートされていません。
- SCSI 変換コネクタ (50pin        68 pin) は使用しないでください。
- ボードには、3 つの SCSI コネクタがありますが、同時に使用できるのは 2 系統までで以下のいずれかのパターンにて使用可能です。

外部 50pin コネクタのみ

内部 68pin コネクタのみ

内部 50pin コネクタのみ

外部 50pin コネクタ+内部 68pin コネクタ

内部 50pin コネクタ+内部 68pin コネクタ

外部 50pin コネクタ+内部 50pin コネクタ

**3 つの SCSI コネクタへ同時に接続しないでください。**

- Windows NT での使用時、SCSI 機器によっては WINASPI.DLL が必要となる場合があります。

**ドライバディスクの変更 (PC-9821 の Windows 95/98)**

PC-9821 を使用の場合、必ずお読みください。

ドライバディスクには、Windows 95/98 用ドライバが以下のように格納されています。

ドライバディスクの場所	内容
ルートディレクトリ	DOS/V 対応 Windows 95/98 用ドライバ
Win95 ディレクトリ	DOS/V 対応 Windows 95/98 用ドライバ
98Win95 ディレクトリ	PC-9821 対応 Windows 95/98 用ドライバ

NEC PC-9821 で使用する場合は、以下の手順でインストール用のディスクを作成する必要があります。

手順：

フォーマット済みの新しいフロッピーディスクを用意します。

ドライバディスクのディスクコピーを取ります。ラベルに REX-PCI32 for PC-9821 と記入します。

ルートディレクトリの REXPCI32.MPD ファイルと REXPCI32.INF ファイルを削除します。

98Win95 ディレクトリの REXPCI32.MPD ファイルと REXPCI32.INF ファイルを、ルートディレクトリにコピーします。

これで、完成です。インストール時、このディスクをご使用ください。

### 空きの IRQ を確認する

REX-PCI32 を取り付ける前に、使用しているパソコンのリソース、特に IRQ について最低 1 つ以上空きのある状態かどうかを確認してください。

#### Windows 95/98 の場合

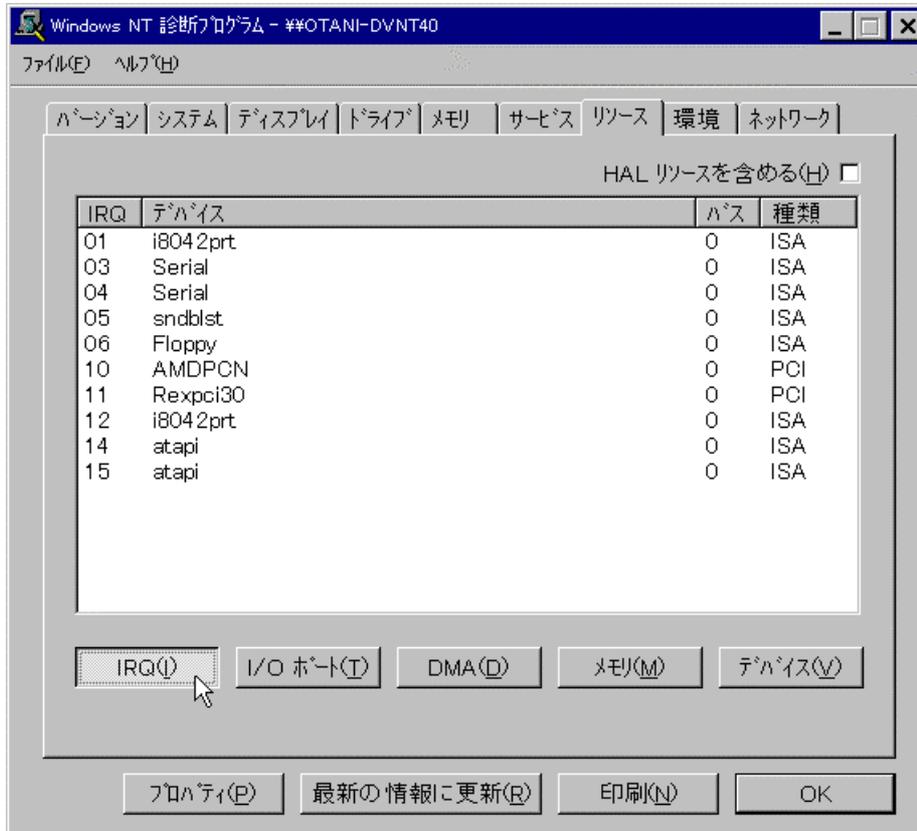
1. Windows 95/98 の [ コントロールパネル ] [ システム ] を開いて [ デバイスマネージャ ] のタブを選択し、コンピュータのところをダブルクリックします。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。この例では、03, 04, 09 が空いています。

Windows NT の場合

1. Windows NT の [ スタート ] [ プログラム ] [ 管理ツール ] [ Windows NT 診断プログラム ] を開いて [ リソース ] のタグを選択します。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。この例では、07,08,09,13 が空いています。

### DOS/Windows 3.1 システムの場合

プラグ・アンド・プレイ ドライバ(DWCFGMG.SYS)を CONFIG.SYS に登録してある場合、プラグ・アンド・プレイユーティリティを起動して確認してください。  
詳しい使用方法については、パソコンに添付のマニュアルを参照してください。

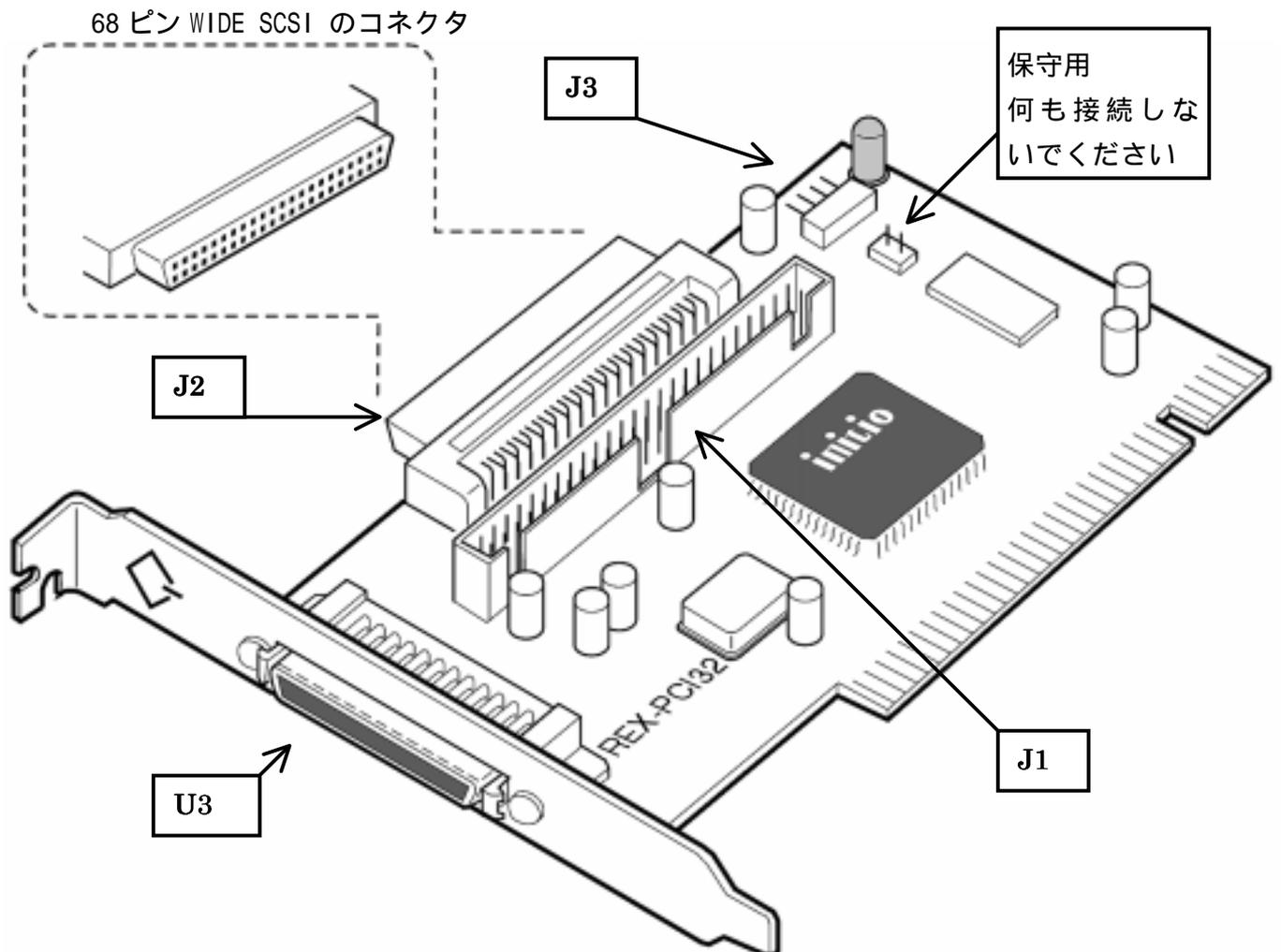
## 2. SCSI ボードのセットアップ

SCSI ボードに SCSI 機器を接続して使用するには次のインストール作業が必要です。

作業の前に、現在使用しているハードディスクの内容を、フロッピーディスク等にバックアップしておいてください。

1 . SCSI ボードに存在する 3 つのコネクタを確認します。

コネクタ名	用途
U3	ハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタ
J1	内蔵機器接続用 50 ピンフラットコネクタ
J2	内蔵機器接続用 68 ピンフラットコネクタ
J3	SCSI Bus ビジー 点燈用信号コネクタ (2 口の場合 3 と 4) ピン 1 と 4 - 電源 ピン 2 と 3 - シグナル (Active Low)

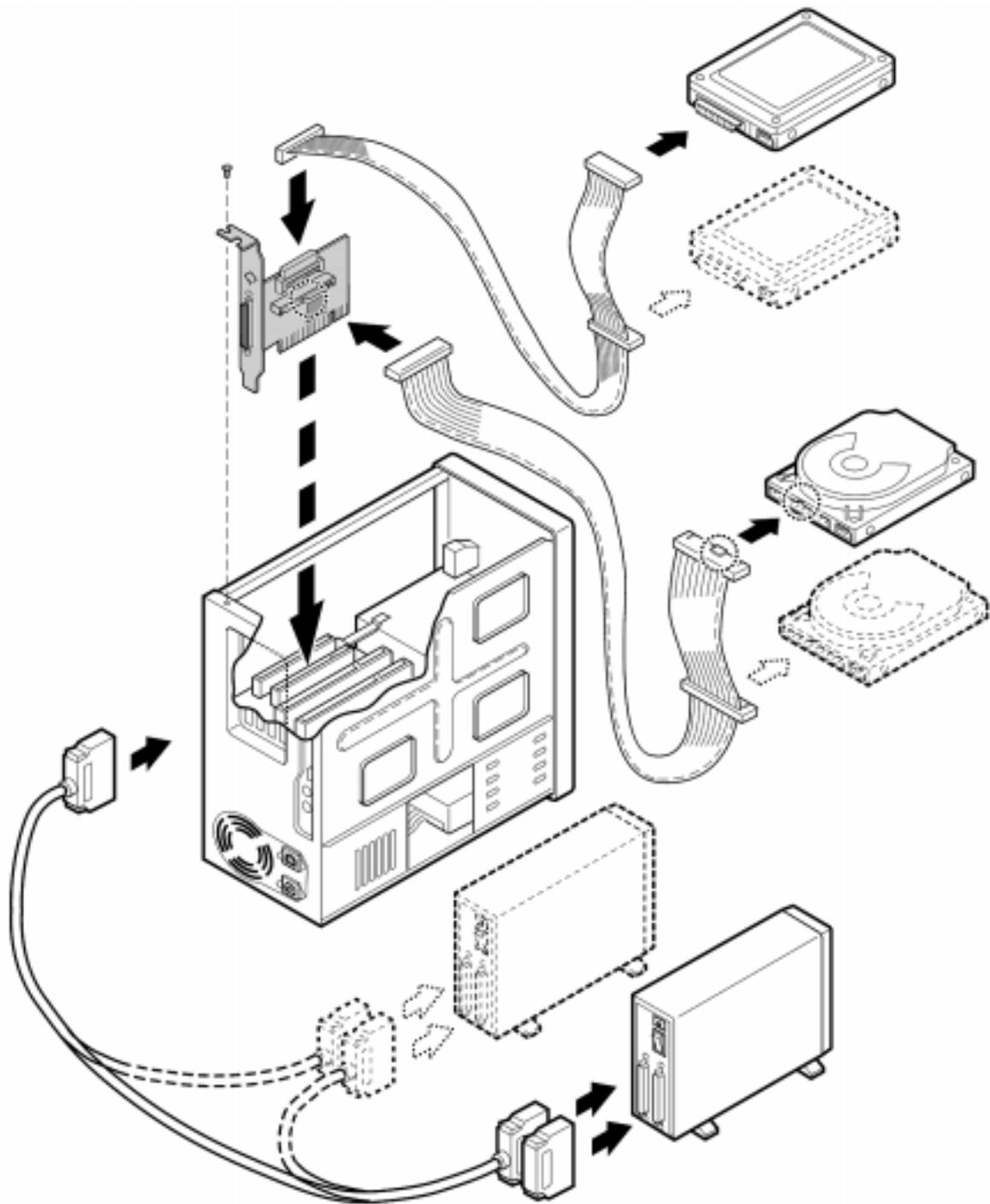


2 . パソコンの電源を OFF にします。電源ケーブルを外します。

パソコンのふたを開いてください。

また、あらかじめ静電気を放電します。

パソコン本体、および SCSI ボードの裸金属部に手を触れてください。



3 . PCI Bus スロットを確認し図のようにセットします。

外部コネクタがシステムユニットの背面に面するように設置し、 PCI Bus スロットに合うように挿入してください。金色の接触部が白いソケットにすっぽり入るまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。挿入されたら取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。

図中の 50pin 内部接続用ケーブル、外部接続用ケーブル、外部ターミネータは添付してありません。68pin 内部接続用ケーブルは添付しております。

3 系統ありますが、同時に使用できるのは 2 系統です。

- 4 . 外部接続 SCSI 機器と内部接続 SCSI 機器をそれぞれのマニュアルに沿ってインストールします。

**内蔵 SCSI 機器がない場合は、フラットケーブルを使用する必要はありません。**

SCSI 機器は 50pin 接続総計 7 つまでと内部 68pin 接続の総計 7 つまで接続が可能です。

接続方法例とターミネータの設定方法を説明します。

ターミネータは必ず SCSI Bus ライン上の両端に設定しなければなりません。

- 5 . 前ページの例で説明すると、内蔵 68pin の SCSI 機器が 1 台または 2 台、および 50pin 外付け SCSI 機器が 1 台または 2 台を接続する様子を示しています。

内蔵 SCSI の最終端の機器には、ターミネータが必要です。

外付け SCSI の最終端の機器にも、ターミネータが必要です。

内蔵 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合、SCSI ボードの low ターミネータは OFF で、high ターミネータは ON で設定されます。

外部 50pin と内蔵 50pin の SCSI 機器がある場合、SCSI ボードの low ターミネータは OFF で、high ターミネータは ON で設定されます。

REX-PCI32 はターミネータ自動設定可能ですので AUTO の設定で動作します。

- 6 . SCSI 機器が内蔵 SCSI 機器のみの場合、内蔵 SCSI の最終端の機器には、ターミネータが必要です。SCSI ボードの low ターミネータと high ターミネータは ON で自動設定されます。

- 7 . SCSI 機器が外付け SCSI 機器のみの場合、外付け SCSI の最終端の機器には、ターミネータが必要です。SCSI ボードの low ターミネータと high ターミネータは ON で自動設定されます。

- 8 . SCSI ID の設定例を示します。

SCSI ID は一つの SCSI Bus ライン上に同じ番号があってはなりません。50pin 内蔵機器は 0~4 を 50pin 外部機器は 5~6 を 68pin 内部機器は 8~15 を使うと決めておくといよいでしょう。50pin 内蔵機器は 0~2 で 50pin 外部機器は 3~6 を使うと決めてもかまいません。守らなければならないことは、同じ番号があってはならないことです。

- 9 . 50pin 内部接続用 SCSI ケーブルは別途用意してください。ボードの J1 コネクタに 50 ピンフラットケーブルを差し込みます。

コネクタにはピン 1 を示す マークがついています。50 ピンフラットケーブル上の端に 1 本のみある色付きストライプの線が マークに合うように差し込みます。

## 第 2 章 SCSI ボードのセットアップ

- 1 0 . WIDE SCSI 機器を接続する場合、添付の 68pin 内部接続用 SCSI ケーブルを使用してください。ボードの J2 コネクタに 68 ピンフラットケーブルを差し込みます。コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 1 1 . 外部接続用 SCSI ケーブルは別途用意してください。  
U3 コネクタを使用して接続します。  
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
- 1 2 . 必須事項ではありませんが内蔵 SCSI 機器にアクセスしているときのアクセスランプを点燈することができるパソコンがあります。  
パソコンの取扱説明書に書かれているハードディスク LED Cable を J2 のコネクタに差し込みます。2 口ケーブルの場合、3 番 4 番に差し込みます。  
詳しくはお手持ちのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。
- 1 3 . パソコンのカバーをもとに戻します。これで REX-PCI32 のハードウェアのインストールが完了です。  
次にパソコンの PCI バスの確認・設定を行います。

### 接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI ケーブルは FAST-20 の規格にあったものをお使いください。

SCSI 機器は、理論上 15 台まで接続可能です。

SCSI 機器が、Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスケーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

#### Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

#### すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 15 台	6 メートル以下

また、接続するケーブルのインピーダンスはすべて統一してください。

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器の性能に影響されます。

### 3. パソコンの PCI バスの確認・設定

REX-PCI32 を取り付けしたパソコンの PCI バスの確認および設定を行います。  
DOS/V と PC-9821 では、まったく方法が異なります。  
これらの作業は、インストールのトラブルを避けるためにも行ってください。  
特に NEC PC-9821 では重要な確認です。

#### PCI バスの確認 (DOS/V)

パソコンの BIOS メニューから以下の項目を探してみます。  
これらの項目は、パソコンによって表記が異なります。パソコンのマニュアルを参照してください。

PCI スロットの有効 / 無効

該当するスロットを有効にします。

ISA スロットの IRQ の設定

“USED” を選択します。

PCI スロットの使用する IRQ の範囲

1 つ以上確保してください。

接続している SCSI 機器の電源を ON にした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、PCI-BIOS レベルでは正常に動作しています。

#### DOS/V での SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REX-PCI32 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Cntl > <l> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < ESC > to continue. !!!

      SCSI ID 0A SEAGATE ST34501W   - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install
```

ブート可能ディスクが接続されていない場合、表示されません。SCSI-BIOS は常駐されません。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、「SCSI ボードのセットアップ」を再度確認してください。

### PCI バスの確認 (PC-9821)

PCI セットアップユーティリティ (PC-9821 に添付) を用意して以下の手順で実行します。詳細の説明は、PC-9821 に添付のマニュアルをご参照ください。  
拡張スロットに何も挿入されていない場合は、この作業は必要ありません。

PCI セットアップユーティリティのディスクを入れて、パソコンの電源を入れます。  
メニューが表示されます。

#### PCI セットアップユーティリティ

ボードセットアップデータの設定 / 更新  
ボードセットアップデータの削除  
セットアップデータの退避・復旧  
終了

ボードセットアップデータの設定 / 更新を選択します。  
C バスボードのボードタイプを実際のボードの装着と一致しているか確認します。

#### PCI セットアップユーティリティ

設定 / 更新するボードを選択してください

C バスボード	ボードタイプ	PCI ボード	自動 / 固定モード
ボード 1	空き	ボード 1	自動
ボード 2	従来互換	ボード 2	自動
ボード 3	プラグ & プレイ		

ボードが装着されていないとき [空き]  
プラグ & プレイ非対応ボード [従来互換]  
プラグ & プレイ対応ボード [プラグ & プレイ]

この例では、REX-PCI32 は PCI ボード 2 にあり [自動] となります。  
自動とは、C バスボード 2, 3 の資源をさけて割り当てを行います。

従来互換の C バスボードの使用する資源を調べてその資源を登録します。

#### PCI セットアップユーティリティ

C バスボード	ボード 2		
I/O アドレス	メモリアドレス	割り込みチャンネル (IRQ)	DMA チャンネル
« « « « «	« « «- « «.	12	—
« « « « «	« « «- « «.	5	—
« « « « «	« « «- « «.	—	—

設定を終了したら、[設定終了]を選択します。

プラグ&プレイのボードについては、割り当てられている資源が表示されます。

他のボードと重なっていないことを確認してください。

設定を保存して PCI セットアップユーティリティを終了してください。

接続している SCSI 機器の電源を ON にした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、PCI-BIOS レベルでは正常に動作しています。

表示されない場合は、PCI セットアップユーティリティで再度確認してください。

#### PC-9821 での SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REX-PCI32 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Cntl > <l> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < ESC > to continue. !!!

SCSI ID 0A SEAGATE ST34501W - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install
```

ブート可能ディスクが接続されていない場合、表示されません。SCSI-BIOS は常駐されません。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、「SCSI ボードのセットアップ」を再度確認してください。

空白ページ

### 4. SCSI コンフィギュレーションの設定

この章では、REX-PCI32 に対する SCSI 環境の設定を行う方法を説明します。

システム立ち上がり時、SCSI-BIOS のスタート画面表示中に<Cntl + I>で表示させます。

PC-9821 においても同様に設定できます。

通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の M0 ドライブ  
( 転送速度を 10MB/S に設定が必要 )
- ・ 一部の Scanner  
( 転送速度を非同期に設定が必要 )

また、システムの異なる環境で使用していたハードディスク等を新たに接続する場合、Disk Utility にて Format Disk ( 物理フォーマット ) を実行することをお勧めします。メニュー構成を示します。

#### DOS/V の SCSI-BIOS メニュー

Main Menu

```
RATOC REX-PCI32 SmartSCSI CSetup Utility Ver XXX <19xx
      PCI Bus : 00   Device : 13H   Port : FC00H   IRQ : 10

Scan Bus  Device Setup  Adapter Setup  BIOS Setup  Disk Utility
```

#### キー操作方法

ESC : 終了します。Exit Setup ? を表示されます。終了する場合、Yes を選択します。

## 第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

---

Scan Bus            SCSI 機器が正しく接続されているか、確認できます。

```
                Press any Key to exit
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST32171N           0484
ID:2  FIJITSU  M2513A           1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC  REX-PC132  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34501W           0018
ID:   省略
```

確認したら何かキーを押してください。

接続した SCSI 機器が表示されない場合、以下の項目（電源 - 接続 - ターミネータ）を確認して、もう一度 Scan Bus を選択します。

**電源**：SCSI 機器の電源が入っていない。

**接続**：SCSI 機器へのケーブルが正しく接続されていない。

**ターミネータ**：SCSI 機器側のターミネータが取り付けられていない。

### Device Setup

SCSI Device ID	#0	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7
Asynchronous Transfer	no							
Max Synchronous Transfer	40							
DOS.Space > 1GB	Yes	省略						
Spin up Disk Drive	No							
Enable Disconnect	Yes							
Enable Wide Negotiation	Yes							
SCSI Device ID	#8	#9	#10	#11	#12	#13	#14	#15
Asynchronous Transfer	no							
Max Synchronous Transfer	40							
DOS.Space > 1GB	Yes	省略						
Spin up Disk Drive	No	省略						
Enable Disconnect	Yes							
Enable Wide Negotiation	Yes							

#### Asynchronous Transfer

非同期の転送に設定する場合、Yes にします。

#### Max Synchronous Transfer

同期時の最大転送速度を 40.0, 26.6, 20.0, 16.0, 13.2, 11.4, 10.0 で設定します。

内部 50 ピンまたは外部 50 ピンに接続した場合、設定した値の半分で転送します。

#### DOS.Space > 1GB

Yes : 1GB ~ 8GB までのハードディスクに対して 255 ヘッド、トラックあたり 63 セクタのパラメタでアクセスします。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。

No : 1GB 以下のハードディスクに対して 64 ヘッド、トラックあたり 32 セクタのパラメタでアクセスします。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。

#### Spin up Disk Drive

SCSI ハードディスクの完全な始動をパソコン立ち上がり時に行うかを指定します。

No : 始動を行いません。(デフォルト)

Yes : 始動を行います。

#### Enable Disconnect

切断を行い、他の SCSI デバイスへのサービスを行うかどうかを選択します。

Yes : ディスコネクト/リコネクトを行います。(デフォルト)

No : ディスコネクト/リコネクトを行いません。

#### Enable WIDE Negotiation

Yes : 16bit バスの接続を有効にします。接続されている機器が 8bit バスの場合自動的に WIDE ネゴシエーションを行いません。(デフォルト)

No : 8bit バスの SCSI 機器が接続されていることを設定します。

## 第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

---

### キー操作方法

- ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。  
設定値を保存しない場合、NO を選択します。
- カーソルキー : 項目の移動を行います。
- + : 値 変更。
- F8 : デフォルト値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

### Adapter Setup

Host Adapter SCSI ID	7
Boot Device ID	0
SCSI Terminators	Automatic
SCSI Parity Check ON	Yes

### Host Adapter SCSI ID

ホストアダプタの NO を変更する場合、指定します。0-7

### Boot Device ID

SCSI ハードディスクからブートする場合その SCSI ID NO を指定することができます。

### SCSI Terminators

SCSI Board のターミネータ設定は、自動設定になっています。(デフォルト)  
通常は、自動設定の設定にしておきます。

手動設定する場合、+ キーを押して以下の項目を選択します。

外部 50 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
内部 68 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
内部 50 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
外部 50 + 内部 68 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF
内部 68 + 内部 50 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF
内部 50 + 内部 50 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF

### SCSI Parity Check ON

SCSI 機器のパリティチェックの有効 / 無効を選択します。

Yes : パリティチェックする。(デフォルト)

No : パリティチェックしない。

### キー操作方法

- ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。  
変更を破棄する場合、NO を選択します。
- カーソルキー : 項目の移動を行います。
- + : 値 変更。
- F8 : デフォルト値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

### BIOS Setup

Enable Host Adapter BIOS	Yes
BIOS Support For More Than 2 Drive	Yes
BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk	No

#### Enable Host Adapter BIOS

SCSI-BIOS をメモリに常駐するかどうかを設定します。

Yes : 常駐します。(デフォルト)

ただし boot UP 可能なデバイスが接続されている場合に限りです。

No : 常駐しません。SCSI-BIOS から SCSI 機器をコントロールしません。

#### BIOS Support For More Than 2 Drive

SCSI-BIOS からアクセス可能なハードディスクの範囲を指定します。

Yes : SCSI ID 0~7 すべてアクセス可能です。(デフォルト)

No : SCSI ID 0 または 1 にアクセス可能です。

#### BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。ただしイジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

No : 固定ディスクと同様に扱いません。(デフォルト)

Yes : 固定ディスクと同様に扱います。

#### キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。  
保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : デフォルト値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

### Disk Utility

```
                Select Device ID
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST32171N           0484
ID:2  FIJITSU  M2513A           1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC  REX-PCI32  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34501W           0018
ID:   省略
```

ハードディスクおよびリムーバブルディスクを選択できます。  
選択後、Verify Disk または Format Disk を選択します。

Verify Disk を選択し実行すると、ハードディスクに不良セクタがあるかどうかの確認ができます。

Format Disk を選択し実行すると、ディスクの物理フォーマットを行います。  
ディスクが以前に PC-9821 のシステム、または Macintosh などの DOS/V と異なる場合、  
まず Format Disk を行いクリアな状態にしてから使用することをお勧めします。  
ディスクの内容は消去されますのでご注意ください。

なお、MO ディスクの初期化については、512byte/sec 以外のメディアは、使用できません。  
640MB の MO ディスクは使用できませんので添付ドライバディスクのユーティリティ  
(REXFMT, REXFMT95) を使用してください。

物理フォーマットの所要時間は、接続した HD、MO 等の性能により大きく異なります。  
長時間かかる機器は、全領域のフォーマットを行っていると考えられます。  
例のような、SEAGATE ST34501W の場合、約 90 分かかります。

実際に使用するには、各オペレーティングシステム上でフォーマット操作も必要になります。



### デバイス選択

SCSI Device ID	#0	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7
非同期転送	no							
最大同期転送速度			40					
切断サポート	Yes							省略
ワイド機能	Yes							
SCSI Device ID	#8	#9	#10	#11	#12	#13	#14	#15
非同期転送	no							
最大同期転送速度			40					
切断サポート	Yes							省略
ワイド機能	Yes							

#### 非同期転送

非同期の転送に設定にする場合、Yes にします。

#### 最大同期転送速度

同期時の最大転送速度を 40.0, 26.6, 20.0, 16.0, 13.2, 11.4, 10.0 で設定します。

内部 50 ピンまたは外部 50 ピンに接続した場合、設定した値の半分で転送します。

#### 切断サポート

切断を行い、他の SCSI デバイスへのサービスを行うかどうかを選択します。

Yes : ディスコネクト/リコネクトを行います。(デフォルト)

No : ディスコネクト/リコネクトを行いません。

#### ワイド機能

Yes : 16bit バスの接続を有効にします。接続されている機器が 8bit バスの場合、自動的に WIDE ネゴシエーションを行いません。(デフォルト)

No : 8bit バスの SCSI 機器が接続されていることを設定します。

#### キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合、変更を記録しますか? の問い合わせがあります。設定値を保存しない場合、NO を選択します

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : デフォルト値設定。 設定を初期値にしますか? の問い合わせがあります。

### アダプタ設定

SCSI カード ID	7
SCSI ターミネータ	自動
SCSI パリティチェックオン	Yes

#### SCSI カード ID

ホストアダプタの NO を変更する場合、指定します。0-7

#### SCSI ターミネータ

SCSI Board のターミネータ設定は、自動設定になっています。(デフォルト)  
通常、自動設定の設定にしておきます。

手動設定する場合、+ キーを押して以下の項目を選択します。

外部 50 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
内部 68 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
内部 50 コネクタのみ :	High Level	ON	Low Level	ON
外部 50 + 内部 68 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF
内部 68 + 内部 50 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF
内部 50 + 内部 50 コネクタ :	High Level	ON	Low Level	OFF

#### SCSI パリティチェックオン

SCSI 機器のパリティチェックの有効 / 無効を選択します。

Yes : パリティチェックする。(デフォルト)

No : パリティチェックしない。

#### キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合、変更を記録しますか? の問い合わせがあります。設定値を保存しない場合、NO を選択します

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値 変更。

F8 : デフォルト値設定。 設定を初期値にしますか? の問い合わせがあります。

## 第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

---

### Disk Utility

```
                Select Device ID
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST32171N           0484
ID:2  FIJITSU M2513A           1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC REX-PC132 H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34501W           0018
ID:   省略
```

ハードディスクおよびリムーバブルディスクを選択できます。  
選択後、ベリファイディスク または フォーマットディスク を選択します。

ベリファイディスク を選択し実行すると、ハードディスクに不良セクタがあるかどうかの確認ができます。

フォーマットディスク を選択し実行すると、ディスクの物理フォーマットを行います。ディスクが以前に PC-9821 のシステム、または Macintosh などの DOS/V と異なる場合、まずフォーマットディスク を行いクリアな状態にしてから使用することをお勧めします。

ディスクの内容は消去されますのでご注意ください。

なお、MO ディスクの初期化については、512byte/sec 以外のメディアは、使用できません。640MB の MO ディスクは使用できませんので添付ドライバディスクのユーティリティ (REXFMT, REXFMT95) を使用してください。

物理フォーマットの所要時間は、接続した HD、MO 等の性能により大きく異なります。長時間かかる機器は、全領域のフォーマットを行っていると考えられます。例のような、SEAGATE ST34501W の場合、約 90 分かかります。

実際に使用するには、各オペレーティングシステム上でフォーマット操作も必要になります。

## 5. Windows 95/98 インストール済みにて使用する

Windows 95/98 のインストール済みパソコンへ REX-PCI32 を取り付ける場合を説明します。

PC-9821 の場合、セットアップの前にオリジナルドライバディスクを変更する必要があります。PC-9821 を使用の場合、必ずお読みください。

ドライバディスクには、Windows 95/98 用ドライバが以下のように格納されています。

ドライバディスクの場所	内容
ルートディレクトリ	DOS/V 対応 Windows 95/98 用ドライバ
Win95 ディレクトリ	DOS/V 対応 Windows 95/98 用ドライバ
98Win95 ディレクトリ	PC-9821 対応 Windows 95/98 用ドライバ

NEC PC-9821 で使用する場合は、以下の手順でインストール用のディスクを作成する必要があります。

手順：

フォーマット済みの新しいフロッピーディスクを用意します。

ドライバディスクのディスクコピーを取ります。ラベルに REX-PCI32 for PC-9821 と記入します。

ルートディレクトリの REXPCI32.MPD ファイルと REXPCI32.INF ファイルを削除します。

98Win95 ディレクトリの REXPCI32.MPD ファイルと REXPCI32.INF ファイルを、ルートディレクトリにコピーします。

これで、完成です。インストール時、このディスクをご使用ください。

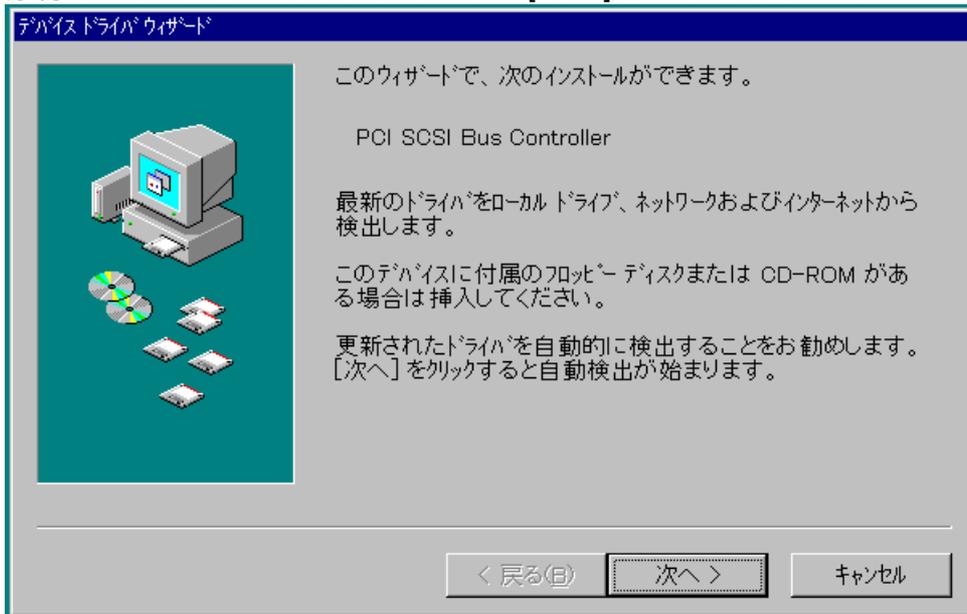
### Windows 95 ミニポートドライバのインストール

Windows 95 が EIDE ハードディスクより起動されており REX-PCI32 を装着したあと SCSI ハードディスク等の SCSI 機器にアクセスするには Windows 95 のミニポートドライバの登録が必要になります。登録は以下の手順で行います。

コントロールパネルの“ハードウェア”(ハードウェアウィザード)によるインストールを行っても、ドライバは正しく組み込まれません。

## 第 5 章 Windows 95/98 インストール済みにて使用する

1. Windows 95B(OSR2)の場合、右のメッセージウインドウが表示されます。  
**添付のドライバディスクをセットし、[次へ]を押してください。**

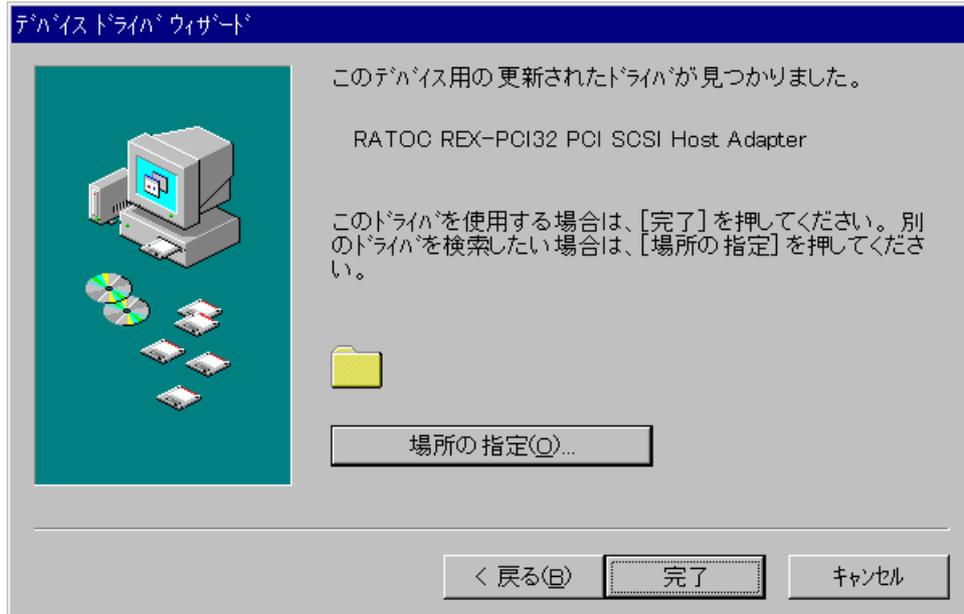


2. Windows 95/95a の場合、新しいハードウェア画面が表示されます。



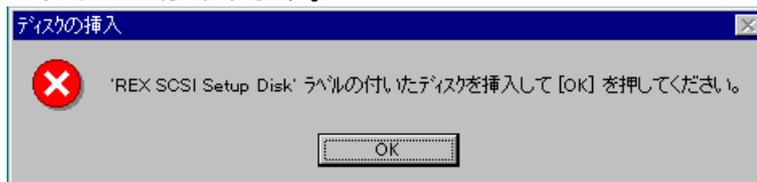
[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択し[OK]を選択します。  
次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。  
画面の説明に沿ってドライバをインストールしてください。  
以降、Windows 95B(OSR2)の場合の画面で説明します。

3. ドライバ発見の画面が表示されます。



[完了]を押してください。

4. 以前、何かのドライバの組み込みに失敗等があった場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



[OK]を選択すると再度インストール画面が表示されます。

5. ドライバのコピー中にコピーするドライバが見つからなく、次のような画面が表示される場合があります。



“ xxxx.xxx ” ファイルが見つかりませんと表示された場合も同様に、「ファイルのコピー元」と同じ、フロッピーディスクドライブ名を入力してください。

6. コピーが終わってしばらくすると、SCSI ボードが有効となり接続されている SCSI 機器が使用可能となります。

7. ドライバディスクを抜いてください。

以上で Windows 95 ミニポートドライバのインストールは終わりです。

続いてインストールの確認を行います。次項はスキップしてください。

### Windows 98 ミニポートドライバのインストール

Windows 98 では、インストールの手順が異なります。

まず Initio INI-9100UW PCI SCSI BOARD と認識されインストールされます。

Windows 98 のハードディスクに Initio INI-9100UW のドライバが組み込まれていますので、それをインストールします。

インストール完了後、「ドライバの変更」にて RATOC REX-PCI32 PCI SCSI BOARD に変更してください。

1. 以下のメッセージが表示されます。



「次へ」を押してインストールを行います。

2. インストール完了後、[コントロールパネル] [システム]の[デバイスマネージャ]を表示します。



Initio INI-9xxxU/UW or inic-950 PCI SCSI Controller をダブルクリックします。

3. [ドライバ] タグを表示します。



[ドライバの更新] を選択します。

4. デバイスドライバの更新ウィザードが開始されます。



「次へ」を選択します。

5. 検索方法を選択します。



上項目を選択します。

### 6. 検索方法のソースを指定します。



フロッピーディスクドライブにチェックします。

### 7. このデバイスに最適なドライバを既に使用しています。と表示されます。



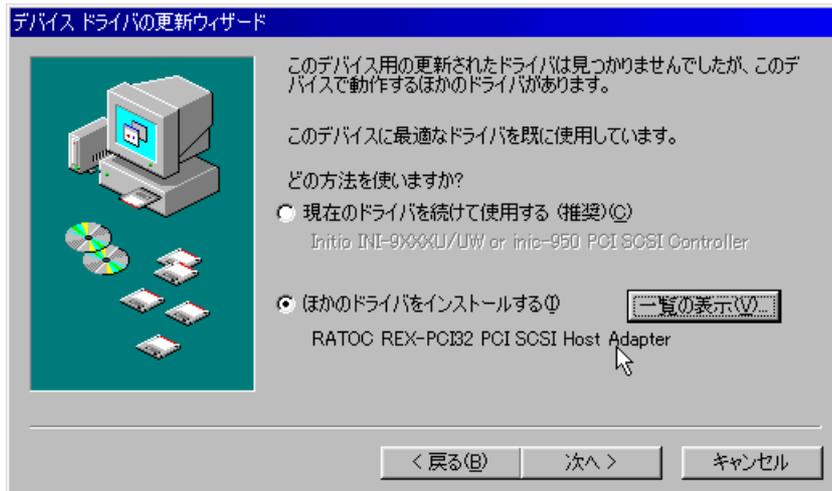
ほかのドライバをインストールする を選択します。

### 8. ドライバの一覧が表示されます。



RATOC REX-PCI32 PCI . . . のドライバの日付が最新のものを選択してください。

9. 再度、元の画面に戻ります。



ほかのドライバをインストールで、RATOC REX-PCI32 PCI Host Adapter を選んであることを確認します。

10. 検索確認画面になります。

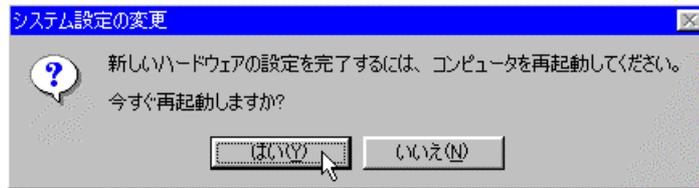


フロッピーディスクドライブのドライバが選択されていることを確認します。

11. しばらくするとインストール確認画面が表示されます。



12. 再起動の画面になります。



ドライバディスクを抜き、システム再起動します。

以上でインストールは終了です。次にインストールの確認を行います。

**Windows 95/98 ミニポートドライバのインストール確認**

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、 [ デバイスマネージャ ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、 [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]が表示されていることを確認します。



- 3.登録されていない場合は、次の確認をします。  
SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。  
表示されなかった場合、3章の PCI バスの確認に戻ってください。
4. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。
  - ・「!」「?」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。
  - ・「X」表示がある場合は、ドライバの動作を停止しています。

詳細の原因は、次の項目画面に示されています。

5. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]のプロパティウィンドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。



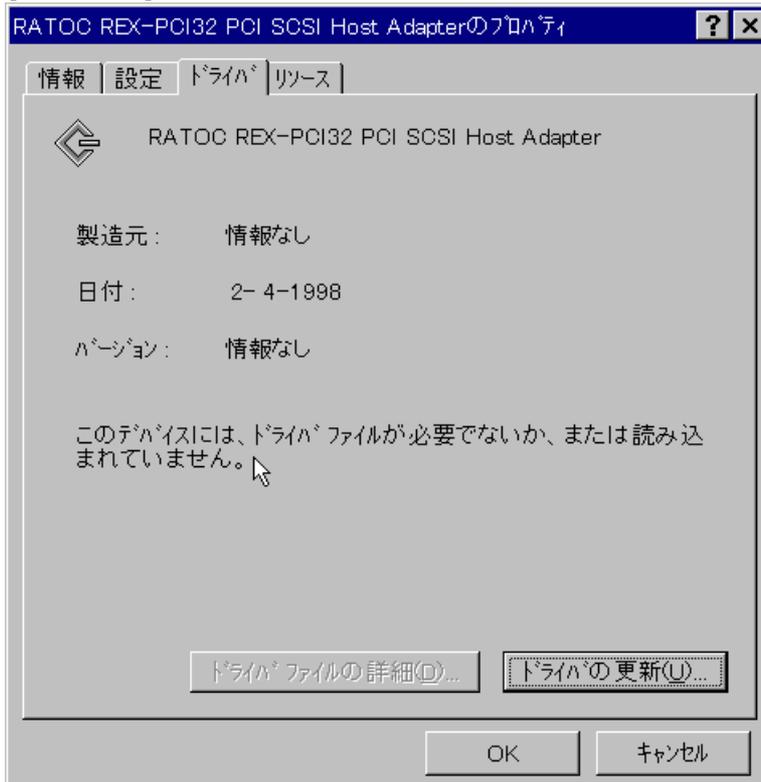
[ 情報 ] タグをクリックして [ このデバイスは正常に動作しています ] が表示されていることを確認します。

6. [ 設定 ] タグを押します。



この項目では、設定および確認することはありません。

7. [ドライバ]のタグを押します。



このように表示されますが、正常です。問題ありません。

8. [リソース]のタグを押します。

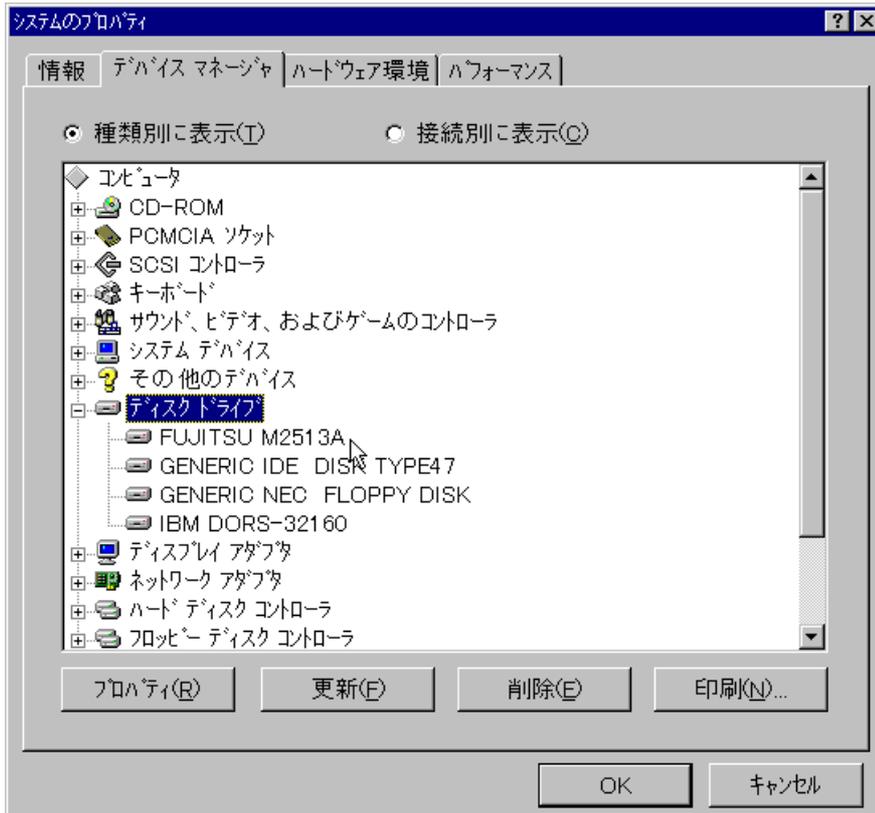


IRQ、メモリ、I/O アドレスが確保されており「競合なし」になっていることを確認します。本製品は、プラグアンドプレイ機能により、競合しないように自動的に設定をおこないます。基本設定を変更しても競合する場合、システム資源不足により使用できません。他のボードを取り外してください。もしくは、COM1、COM2、パラレルポートを無効にしてシステム資源を確保してください。

### SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイス マネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示の項目を確認します。  
「CD-ROM」、「ディスクドライブ」項目等の左のプラス記号(+)をクリックして、接続機器のベンダー名(メーカー名)や型番が含まれているか確認します。



この場合、MO(FUJITSU M2513A)が接続されていることを示しています。

[プロパティ]で詳細を確認してください。

設定項目の中で、切断および同期データ転送の設定は、ドライブに対する設定になります。REX-PCI32側の設定は、SCSI コンフィギュレーション(SCSI-BIOS 設定)にて設定してください。

該当のドライブが表示されていない場合は、SCSI 機器の設定や SCSI ケーブルの接続を確認してください。

本製品添付フロッピーに含まれる「WINSSC」コマンドでも接続機器を確認できます。  
詳しくは、後述の「WinSSC - Windows 95/98用SCSI機器接続確認ユーティリティ」をご覧ください。

## ドライバの削除

一度登録したドライバを削除する場合は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [ コントロールパネル ] の [ システム ] を開き、 [ デバイスマネージャ ] を選択します。
2. デバイスツリー表示から項目を削除します。  
「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号 (+) をクリックして、 [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter] 項目を選択して [ 削除 ] ボタンをクリックします。

[OK] を選択します。完全に削除するには、再起動せず次の手順でドライバモジュールを削除します。

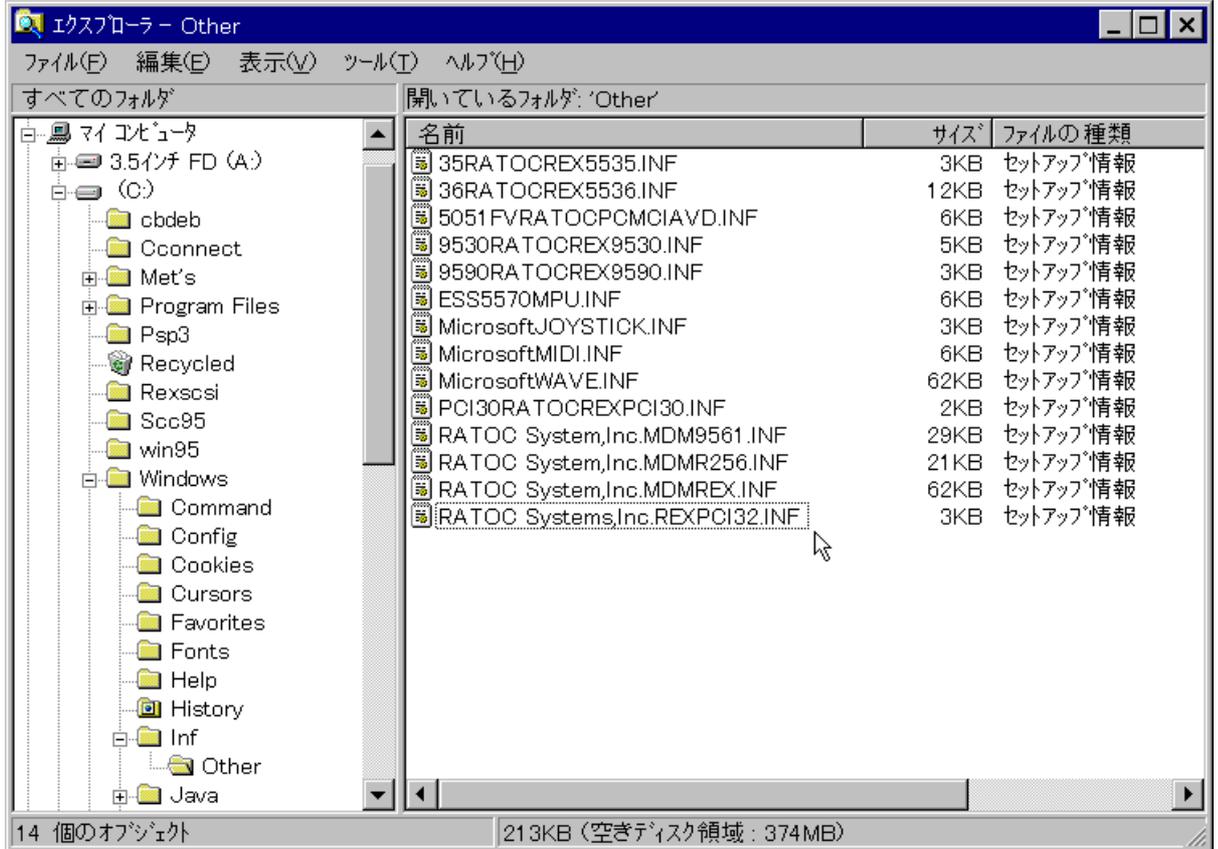


## ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [ マイコンピュータ ] を開き、 [ 表示(V) ] - [ オプション(O) ] にて [ すべてのファイルを表示(S) ] をチェックします。
2. [ スタート ] ボタンから [ 検索 ] - [ ファイルやフォルダ ] を選択します。
3. [ 名前(N): ] に「REXPCI32.MPD」と入力します。
4. [ 探す場所(L): ] に Windows 95/98 がインストールされているディレクトリ名(ドライブ名)を入力します。
5. [ 検索開始(I) ] をクリックします。
6. [ REXPCI32.MPD ] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。

## 第 5 章 Windows 95/98 インストール済みにて使用する

7. [ 名前(N): ] に「OEM\*.INF」と入力します。  
( OSR2 の場合、ファイル名が RATOC Systems, Inc.REXPCI32.INF になっています。  
検索は「\*PCI32.INF」で行います。 )

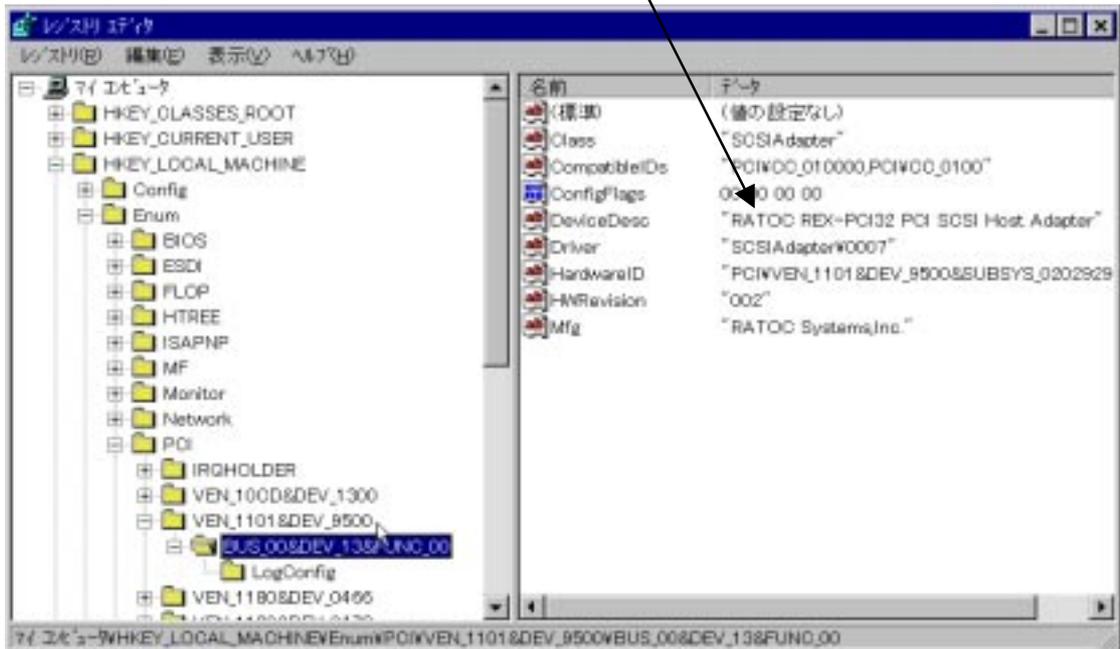


8. [ 探す場所(L): ] に Windows 95/98 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [ 検索開始(I) ] をクリックします。
10. [ OEMx.INF ] が表示されたら、ファイルを開きます。「RATOC System」の記述がある場合、一度ファイルを閉じ、そのファイルを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。上記記述があるファイルが複数ある場合があります。すべてファイルを削除します。

## レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分注意してください。

1. [ スタート ] ボタンから [ ファイル名を指定して実行 ] を選択します。
2. [ 名前(0): ] に「REGEDIT」と入力して [ OK ] ボタンをクリックします。
3. [ HKEY\_LOCAL\_MACHINE ] - [ Enum ] - [ PCI ] と順番に開きます。そして、文字列が [ RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter ] と一致する行が登録されているか確認します。



この記述がある場合に限り、上記画面のように反転してある、その行を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。

上記画面のように見つけれない場合、**PCI** を選択し反転させて [ 編集 ] [ 検索 ] で「PCI32」の文字列を検索してください。上記のように見つけれられます。

4. すべてなくなったら、レジストリエディタを終了します。

これで完全にドライバは削除されました。

パソコンを再起動し、先に説明した「ドライバのインストール」にしたがってドライバを再インストールします。

### ドライブの確認

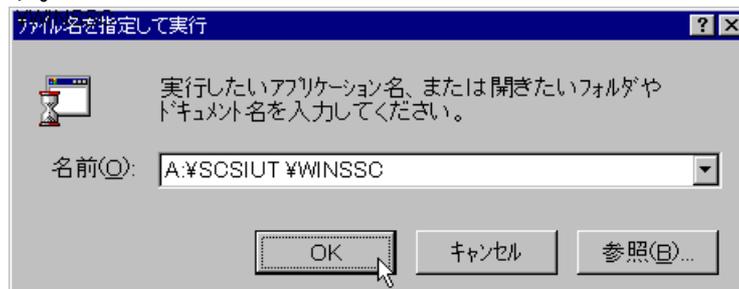
最初にドライブそのものが REX-PCI32 で認識できているか確認します。

#### 1. WinSSC の起動

[ スタート ] ボタンから [ ファイル名を指定して実行(R) ] を選択します。

[ 名前(O): ] の覧に「A:¥SCSIUT ¥WINSSC」と入力して [ OK ] ボタンを押します。

REXSCSI ユーティリティのインストールが完了している場合、SCSI 接続機器確認を実行します。

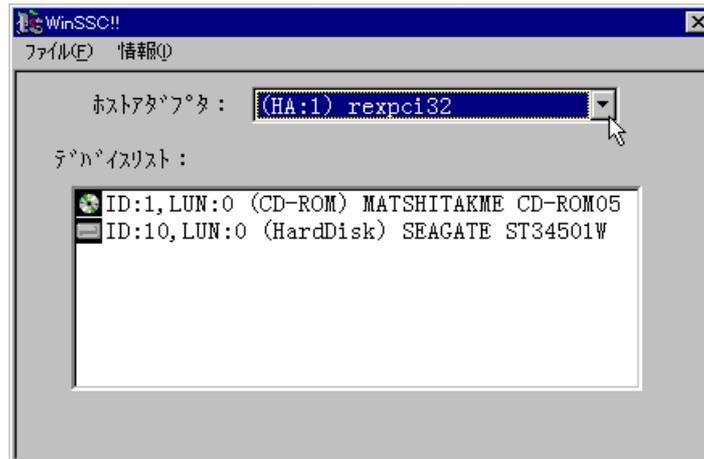


#### 2. SCSI 機器の確認

WinSSC が起動すると下の画面が表示されます。PCI IDE の内容が最初に表示されますので、「ホストアダプタ」を変更します。



3. REXPCI32 のホストアダプタが表示されます。



該当の SCSI 機器が表示されれば、REXPCI32 が完全に動作しています。

4. さらに詳細内容を表示してみます。

CD-ROM の場合、以下のように表示されます。



### 5. ハードディスクを選択してみます。



Ultraのハードディスクであっても、上記のように適合規格は、SCSI-2と表示されます。がこれはハードディスクがSCSI-2と値を返しているためです。

正しい場合は、次章のWindows 95/98でのSCSIユーティリティでHD/MOのフォーマットに進みます。

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

この Step は SCSI ハードディスクより Windows 95/98 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows 95/98 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

C ドライブ(EIDE)に設定されているスワップファイルを D ドライブ(SCSI)に変更する例を示します。

マイコンピュータのアイコンを右クリックし [プロパティ] を選択します。

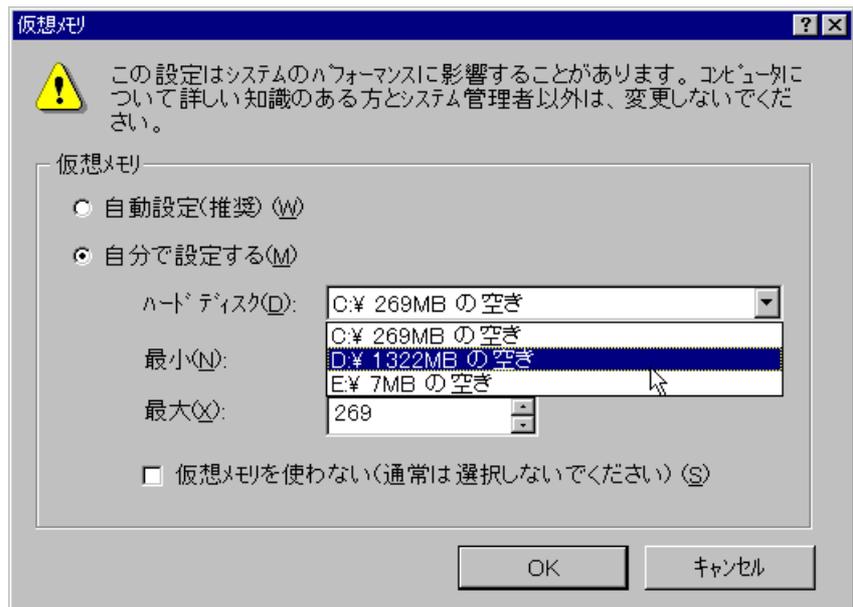
パフォーマンスのタブを選択します。



仮想メモリを選択してください。

[自分で設定する]  
を選択しハードディスクをDドライブに変更します。

再起動すると設定が有効になります。



### 6. 新たに Windows 95/98 をインストールする

この章では、DOS/Windows 3.1 を SCSI ハードディスクに移動し、Windows 95/98 へのアップグレードする場合の説明を行います。

#### 区画領域の作成

Windows 95 へのアップグレードを新規 SCSI HD にて行う場合の手順になります。SCSI ハードディスクを御使用頂くと EIDE タイプのハードディスクより、Windows 95 の立ち上げ、およびアプリケーションの起動等が快適になります。ここでは、DOS/Windows 3.1 が EIDE のハードディスクにインストールされており先ほど増設した REX-PCI32 と大容量 SCSI ハードディスクで SCSI ハードディスクに Windows 95 をインストールする手順を示します。DOS/V にて SCSI ハードディスクより起動する場合、EIDE ハードディスクは取り外すか Disable(無効)にするか SCSI boot の設定にする必要があります。

#### PC-9821

PC-9821 では、固定ハードディスク起動メニューより起動できます。詳しくは、パソコンのマニュアルを参照願います。

MS-DOS 6.2 のシステムフロッピーディスク (NO.1) をセットしてシステムリセットしてください。MS-DOS のインストーラが立ち上がります。

MS-DOS 6.2 のシステムフロッピーディスクは、パソコン購入時添付されていますが近年、パソコンの電源投入後ユーザが作成するタイプが増えています。インストーラが起動したところで F3 キーを押して終了させ MS-DOS プロンプトに戻してください。

以降、DOS/V と PC-9821 で分けて記述します。

## 第 6 章 新たに Windows 95/98 をインストールする

---

### DOS/V の場合

A:>      が表示されます。

A:> FDISK と入力します。

「 5 . 現在のハードディスクドライブを変更」を選択します。EIDE ハードディスクがない場合 5 は選択できません。

「 1 . MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択します。

さらに、「 1 . 基本 MS-DOS 領域を作成」を選択します。

領域の最大領域を確保するかの質問に Y を選択します。

領域を確保しましたのメッセージが表示されます。

メッセージに従ってシステムリセットしてください。

EIDE ハードディスクより立ち上がり SCSI ハードディスクは D ドライブ (EIDE ハードディスクが 1 つでパーティションが 1 つの場合) となります。

パーティションが 2 つの場合、SCSI ハードディスクは、E ドライブとなります。

Windows 3.1 が自動立ち上がりになる場合、Windows を終了してください。

C:¥>      が表示されます。

D ドライブの SCSI ハードディスクのフォーマットを行います。

C:¥>FORMAT D: と入力します。

フォーマットしてよいかの確認が行われます。

正しく終了したことを確認して次のステップに進んでください。

**重要:** FDISK、FORMAT を行うとそのディスクのデータはすべて失われますのでご注意ください。

### PC-9821 の場合

A:>     が表示されます。

A:> FORMAT と入力します。

装置名で、「固定ディスク」を選択します。

接続状況で、SCSI 固定ディスクが表示されていることを確認します。

装置番号で、SCSI 固定ディスクの番号に変更します。

初期化、領域確保、状態変更の順で、ハードディスクをフォーマットします。

領域を確保しましたのメッセージが表示されます。

メッセージに従ってシステムリセットしてください。

EIDE ハードディスクより立ち上がり SCSI ハードディスクは B ドライブ (EIDE ハードディスクの有効パーティションが 1 つの場合) となります。

Windows 3.1 が自動立ち上がりになる場合、Windows を終了してください。

正しく終了したことを確認して次のステップに進んでください。

**重要:** FORMAT を行くとそのディスクのデータはすべて失われますのでご注意ください。

### DOS/Windows 3.1 のインストール

MS-DOS および Windows 3.1 のインストールを行います。ここでは例として EIDE ハードディスクにある DOS/Windows 3.1(C ドライブ)を SCSI ハードディスク(D ドライブ)にコピーする場合について説明します。

PC-9821 の場合、DOS/Windows 3.1(A ドライブ)を SCSI ハードディスク(B ドライブ)にコピーする場合について説明します。

もちろん順当に MS-DOS および Windows 3.1 のインストールを行ってもかまいません。その場合はそれぞれのマニュアルをお読みください。

### DOS/V の場合

システムファイルを D ドライブにコピーします。

`C:¥>SYS C: D:` と入力します。

システム転送されましたと表示されます。

DOS/Windows 3.1 のファイルをすべてコピーします。

`C:¥>XCOPY C:¥*. * D: /S /V` と入力します。

コピーが開始されます。上書きしてよいか? には n を入力します。

すべてコピーされると EIDE ハードディスクは必要ありません。

システム BIOS の変更にて EIDE ハードディスクを NOT INSTALL に設定する (パソコンのマニュアルに記述されています) か物理的に取り外します。

SCSI ハードディスクは C ドライブになります。

SCSI ハードディスクより立ち上がらない場合、MS-DOS 6.2 のシステムディスクより立ち上げ次のコマンドを入力してください。

`A:¥>FDISK /MBR` と入力します。

また、FDISK コマンドにて SCSI ハードディスクがアクティブになっていることを確認してください。領域欄に `Au` と表示されていることを確認してください。

### PC-9821 の場合

システムファイルを B ドライブにコピーします。

`C:¥>SYS A: B:` と入力します。

システム転送されましたと表示されます。

DOS/Windows 3.1 のファイルをすべてコピーします。

`C:¥>XCOPY A:¥*. * B: /S /V` と入力します。

コピーが開始されます。上書きしてよいか? には n を入力します。

すべてコピーされると EIDE ハードディスクは必要ありません。

物理的に取り外すか、システムの変更 (HELP + リセット) にて EIDE ハードディスクを切り離すことができます。

ディップスイッチ 2 の設定の内蔵固定ディスクを切り離すに設定します。

詳しくは、パソコンのマニュアルを参照願います。

SCSI ハードディスクは A ドライブになります。

SCSI ハードディスクより立ち上がらない場合、MS-DOS 6.2 のシステムディスクより立ち上げ次のコマンドを入力してください。

`A:¥>FORMAT` と入力します。

状態の変更にて、状態がアクティブになっていることを確認してください。

### Windows 3.1 環境の確認

MS-DOS および Windows 3.1 を使用して EIDE ハードディスクを使用していた状態に比べて快適になったことを確認してください。具体的には Windows 3.1 の立ち上がり、プログラムの起動、データのコピー等です。

Windows 3.1 を立ち上げるとスワップファイルが壊れていますのメッセージが表示されますが Windows 3.1 立ち上がり後、コントロールパネルのエンハンスモードを選択しスワップファイルの設定を再度行ってください。

もし、Windows 3.1 のパフォーマンスが落ちている場合、REX-PCI32 と SCSI ハードディスクのネゴシエーションがうまく動作していない可能性があります。後章の SCSI コンフィギュレーションを参照して転送速度の変更にて遅い速度、あるいは非同期転送の設定にしてください。ただこの状態でご使用になるのはお勧めできません。最新の大容量 SCSI ハードディスクの購入をお勧めします。

### SCSI CD-ROM を利用可能に

IDE CD-ROM が既に利用可能の場合、本 STEP での作業は必要ありません。

Windows 95 Upgrade CD-ROM のアクセスを可能にします。

この STEP では REX-PCI32 に接続された SCSI CD-ROM を DOS/ Windows 3.1 環境下で利用可能にし、Windows 95 Upgrade CD-ROM の SETUP.EXE を起動するために行います。

作業内容としてフロッピーディスクドライブの DOS ディレクトリのプログラムをすべて C ドライブの REXSCSI ディレクトリ (新規) にコピーします。

DOS/V の場合、CONFIG.SYS に

```
DEVICE=ASP950.SYS /D          (ASPI Manager)
DEVICE=REXCD.SYS /D:MSCD001  (CD-ROM ドライバ)
DEVICE=REXDISK.SYS          (ディスクドライバ)
```

の 3 行を追加します。

PC-9821 の場合、CONFIG.SYS に

```
DEVICE=ASP950N.SYS /D        (ASPI Manager)
DEVICE=REXCD.SYS /D:MSCD001  (CD-ROM ドライバ)
DEVICE=REXDISK.SYS          (ディスクドライバ)
```

の 3 行を追加します。

DOS/V、PC-9821 とともに AUTOEXEC.BAT に

```
MSCDEX.EXE /D:MSCD001          (CD-ROM エクステンション)
```

の 1 行を追加します。

C:¥>MD REXSCSI と入力します。

C:¥>COPY A:¥DOS¥\*. \* C:¥REXSCSI と入力します。

CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT を次の例にならって EDIT(メモ帳等)します。

Windows 3.1 が起動できる状態では、SETUPW31.EXE にて CD-ROM のドライバをインストールすることもできます。

### CONFIG.SYS の例

```
DEVICE=C:\DOS\HIMEM.SYS
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE
DOS=HIGH,UMB
DEVICEHIGH=C:\REXSCSI\ASP950.SYS /D      追加 ( EMM386 以降に )
( PC-9821 の場合、ASP950N.SYS を使用します )
DEVICEHIGH=C:\DOS\SETVER.EXE
DEVICEHIGH=C:\DOS\BILING.SYS
DEVICEHIGH=C:\DOS\JFONT.SYS /P=C:\DOS\ /24=ON
DEVICEHIGH=C:\DOS\JDISP.SYS
DEVICEHIGH=C:\DOS\JKEYB.SYS /106 C:\DOS\JKEYBRD.SYS
DEVICE=C:\DOS\JPRINTER.SYS
DEVICEHIGH=C:\DOS\KKCFUNC.SYS
FILES=40
DEVICEHIGH=C:\DOS\ANSI.SYS
STACKS=9,256
DEVICEHIGH=C:\PLUGPLAY\DRIVERS\DWCFGMG.SYS
LASTDRIVE=Z
DEVICEHIGH=C:\REXSCSI\REXCD.SYS /D:MSCD001      追加
DEVICEHIGH=C:\REXSCSI\REXDISK.SYS              追加
```

### AUTOEXEC.BAT の例

```
C:\DOS\SMARTDRV.EXE /X
@ECHO OFF
PROMPT $p$g
PATH C:\WINDOWS;C:\DOS;C:\REXSCSI          PATH 追加
SET TEMP=C:\DOS
C:\DOS\NLSFUNC.EXE C:\DOS\COUNTRY.SYS
C:\DOS\CHEV.COM JP
C:\DOS\MSCDEX.EXE /D:MSCD001 /M:10         /D:MSCD001 を追加
```

### CD-ROM ドライブの設定と接続

1. パソコン本体を再起動 (リセット) します。  
CD-ROM ドライブに添付のドライバ等のソフトウェアをインストールする必要はありません。
2. パソコン再起動後、Windows 3.1 を起動してファイルマネージャから CD-ROM ドライブにアクセスできるかを確認します。

### CD-ROM ドライブが認識されない場合

ファイルマネージャから CD-ROM ドライブが確認できない場合、Windows 3.1 を終了して DOS に戻り、本製品添付フロッピーに含まれる SSC コマンドを実行して次のことを確認してください。

SSC の実行結果	確認事項
CD-ROM を認識している場合	Windows 3.1 を起動する前に MSCDEX でドライブが割り当てられているか AUTOEXEC.BAT の記述を確認します。
「ASPI マネージャが登録されていません」と表示された場合	CONFIG.SYS の記述を確認します。
CD-ROM を認識しない場合	CD-ROM ドライブの設定や SCSI ケーブルの接続等を確認します。

詳しくは、後述の「SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド」および「DOS 用 SCSI 関連ドライバについて」をご覧ください。

### Windows 95/98 のインストール

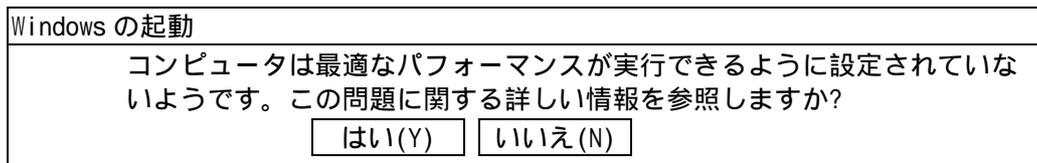
Windows 3.1 上で CD-ROM が使用できる状態になったら、Windows 95 のインストールを進めます。なお、PC-9821 をご使用の場合、ドライバディスクの変更が必要です。1 章のドライバディスクの変更を行ってください。

1. Windows 3.1 を起動します。
2. プログラムマネージャの [ アイコン(F) ] メニューの [ ファイル名を指定して実行 ] を選択します。
3. コマンドライン(C): の入力欄に「D:¥SETUP」を入力して OK ボタンを押します。

**この例では、ドライブ「D:」が CD-ROM ドライブに割り当てられているものとして説明しています。**

Windows 95 のインストーラが起動したら画面の指示にしたがって作業を進めていきます。ファイルのコピーが終了したら Windows 95 が起動して Windows 95 のセットアップが実行されます。

Windows 95 のセットアップが終了すると、以下の表示となる場合があります。



この時点では、まだ 16 ビット版の ASPI マネージャ、ディスクドライバ、CD-ROM ドライブ等が登録されているためですが、[ いいえ ] をクリックしてこのまま作業を進めてください。

4. Windows 95 の再起動時に、REX-PCI32 のミニポートドライバ (32 ビットアクセス) のインストールを行うための画面が表示されます。

「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して、OK を選択します。

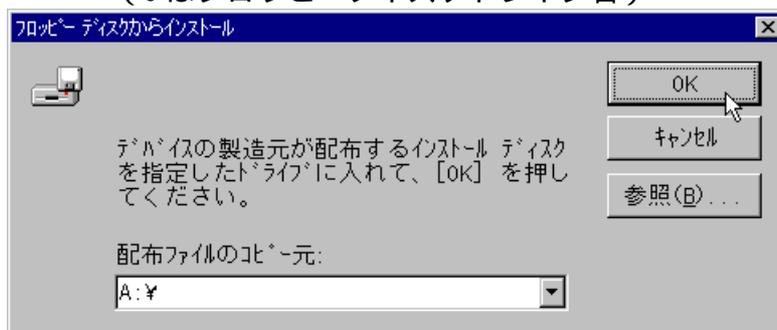
本製品に添付するドライバディスクをフロッピードライブに挿入します。

次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。

「配布ファイルのコピー元」の下の欄に A:¥ を入力します。

PC-9821 の場合、C:¥と入力します。

(C はフロッピーディスクドライブ名)



C:¥ (PC-9821 の場合)

## 第 6 章 新たに Windows 95/98 をインストールする

---

5. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter] を選択して [次へ>] ボタンを押すと、フロッピーディスクからドライバのコピーが始まります。

その後、Windows 95 のインストールとミニポートドライバの登録が終了したら前 Step の SCSI CD-ROM を利用可能に、で登録したドライバ (ASP950.SYS、REXCD.SYS、REXDISK.SYS) をコメントにしてください。方法は行の先頭に REM と入力します。

```
REM DEVICE=ASP950.SYS /D
      ( PC-9821 の場合、ASP950N.SYS になります )
REM DEVICE=REXCD.SYS /D:MSCD001
REM DEVICE=REXDISK.SYS
```

MSCDEX.EXE については Windows 95 のインストーラが REM に変更します。

続いて、Windows 95 ミニポートドライバのインストール確認、SCSI 機器の確認、ドライバの削除の方法についてを参照願います。

### Windows 95/98 ミニポートドライバのインストール確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]が表示されていることを確認します。



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。  
SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。  
表示されなかった場合、3章の PCI バスの確認に戻ってください。
4. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。
  - ・「!」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。
5. [RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]のプロパティウィンドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。
  - ・ [情報] タグをクリックして [このデバイスは正常に動作しています] と表示されていることを確認します。
  - ・ 確認したら、[OK] ボタンを押してデバイスマネージャのウィンドウに戻ります。

本製品は、プラグアンドプレイ機能により、競合しないように自動的に設定を行います。基本設定をかえても競合する場合、システム資源不足により使用できません。他のボードを取り外してください。もしくは、COM1、COM2、パラレルポートを無効にしてシステム資源を確保してください。

### SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示の項目を確認します。  
「CD-ROM」、「ディスクドライブ」項目等の左のプラス記号(+)をクリックして、接続機器のベンダー名(メーカー名)や型番が含まれているか確認します。



この場合、MO が接続されていることを示しています。[プロパティ] で詳細を確認してください。

表示されていない場合は、SCSI 機器の設定や SCSI ケーブルの接続を確認してください。

本製品添付フロッピーに含まれる「WINSSC」コマンドでも接続機器を確認できます。  
詳しくは、後述の「WinSSC - Windows 95/98用SCSI機器接続確認ユーティリティ」をご覧ください。

### ドライバの削除

一度登録したドライバを削除する場合は以下の手順で行います。

1. Windows 95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示から項目を削除します。  
「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[RATOC REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter]項目を選択して [削除] ボタンをクリックします。

[OK]を選択します。完全に削除するには、再起動せず次の手順でドライバモジュールを削除します。

### ドライバファイルと INF ファイルの削除

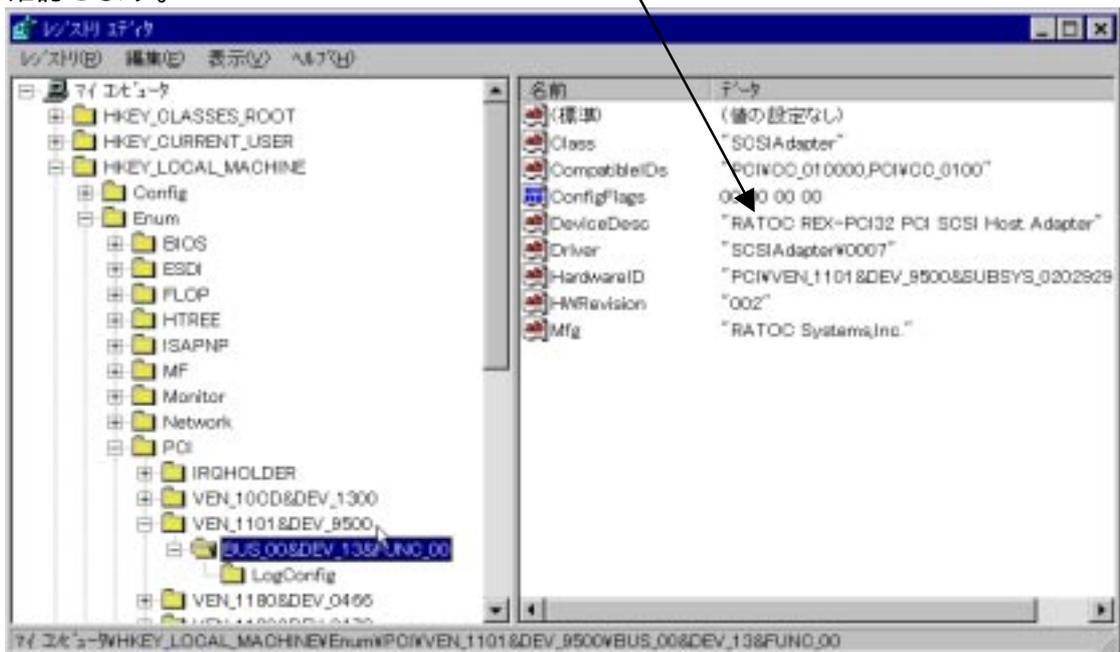
1. [マイコンピュータ] を開き、[表示(V)] - [オプション(O)] にて [すべてのファイルを表示(S)] をチェックします。
2. [スタート] ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
3. [名前(N):] に「REXPCI30.MPD」と入力します。
4. [探す場所(L):] に Windows 95/98 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [検索開始(I)] をクリックします。
6. [REXPCI30.MPD] が表示されたら、それを選択して削除キー(DEL)を押して削除します。
7. [名前(N):] に「OEM\*.INF」と入力します。  
(OSR2 の場合、ファイル名が RATOC Systems, Inc. REXPCI32.INF になっています。検索は「\*PCI30.INF」で行います。)
8. [探す場所(L):] に Windows 95/98 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I)] をクリックします。
10. [OEMx.INF] が表示されたら、ファイルを開いて RATOC System の記述があるか確認します。

上記記述がある場合に限り、そのファイルを選択して削除キー(DEL)を押して削除します。上記記述があるファイルが複数の場合、すべてなくなるまで削除します。

### レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分注意してください。

1. [ スタート ] ボタンから [ ファイル名を指定して実行 ] を選択します。
2. [ 名前(0): ] に「REGEDIT」と入力して [ OK ] ボタンをクリックします。
3. [ HKEY\_LOCAL\_MACHINE ] - [ Enum ] - [ PCI ] と順番に開きます。そして、文字列が [ RATOX REX-PCI32 PCI SCSI Host Adapter ] と一致する行が登録されているか確認します。



この記述がある場合に限り、上記画面のように反転してある、その行を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。

上記画面のように見つけられない場合、[ PCI ] を選択し反転させて [ 編集 ] [ 検索 ] で「PCI32」の文字列を検索してください。上記のように見つけられます。

4. すべてなくなったら、レジストリエディタを終了します。

これで完全にドライバは削除されました。

先に説明した「ドライバのインストール」にしたがってドライバを再インストールします。

### ドライブの確認

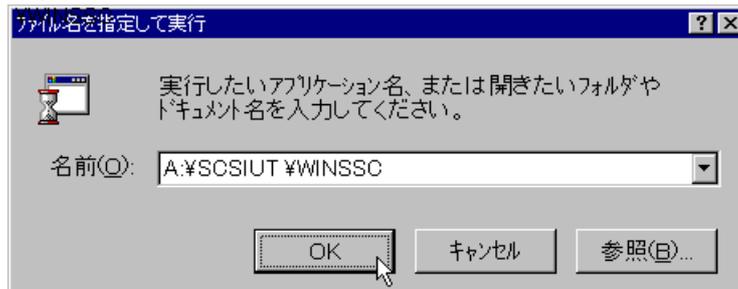
SCSI 機器そのものが REX-PCI32 で認識できているか確認します。

#### 1. WinSSC の起動

[ スタート ] ボタンから [ ファイル名を指定して実行(R) ] を選択します。

[ 名前(O): ] の覧に「A:¥SCSIUT ¥WINSSC」と入力して [ OK ] ボタンを押します。

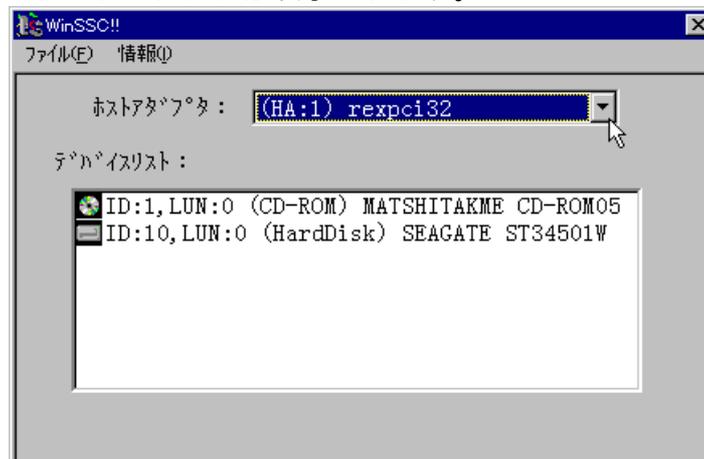
REXSCSI ユーティリティのインストールが完了している場合、SCSI 接続機器確認を実行します。



#### 2. SCSI 機器の確認

WinSSC が起動すると下の画面が表示されます。PCI IDE の内容が最初に表示されますので、「ホストアダプタ」を変更します。

#### 3. REXPCI32 のホストアダプタが表示されます。



該当の SCSI 機器が表示されれば、REXPCI32 が完全に動作しています。

新しいハードディスクや MO ドライブの表示が正しい場合は、次章の「Windows 95/98 での SCSI ユーティリティ」で HD/MO のフォーマットに進みます。

### 7. Windows 95/98 での SCSI ユーティリティについて

この章では、添付ディスクに含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

#### SCSI ユーティリティのインストール

REXFMT95.EXE、WINSSC.EXE のインストールを行います。

1. 本製品に添付のドライバディスクをフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SETUP95 をダブルクリックして起動します。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REX SCSI ユーティリティ]が追加されています。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95) とは :

HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。

REX-PCI32 に接続された HD,MO,PD をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。

SCSI 機器確認 (WINSSC) とは :

REX-PCI32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。

SCSI 機器が動作しない場合、本プログラムをお使いください。

### REXFMT95 - Windows 95/98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

REX-PC132 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。  
次のように接続されている機器のインクアイリ情報がホストアダプタごとに表示されます。フォーマットしたい機器を選択し[セレクト]を押します。



2. 選択後、次の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで[メディアの初期化]を選択します。[処理]タグの[メディアの初期化]を選択する方法もあります。

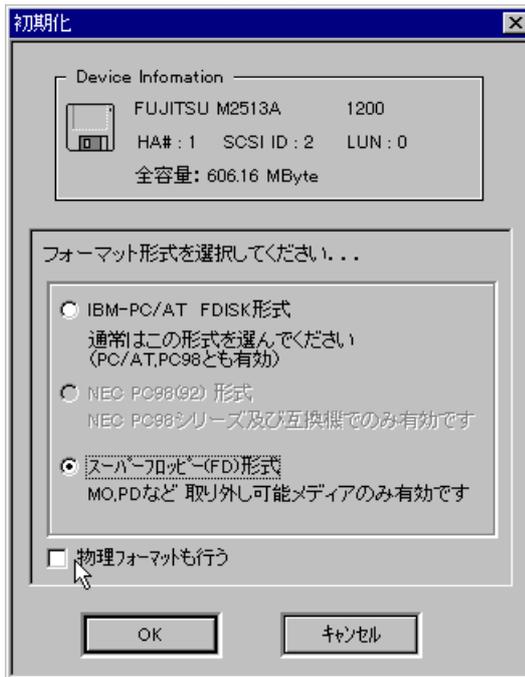


本プログラムの制限：

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。

DOS/V および PC-9821 のブートディスクの作成はできません。ブートディスクを作成する場合は、FDISK および FORMAT コマンドをご使用ください。

3. 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、M0640 をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

4. フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。本プログラムはFAT32をサポートしていますのでファイルシステムにてFAT32を選択することが可能です。



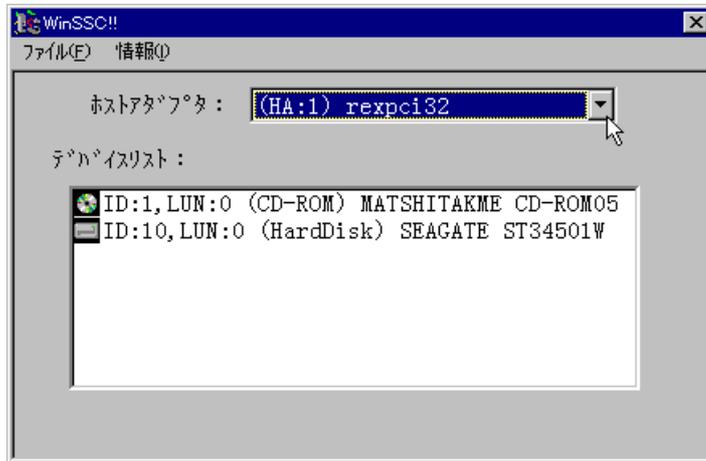
FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。(Windows95B(OSR2), Windows 98 でのみサポートしています)

5. フォーマット完了後、システムを再起動してください。

### WinSSC - Windows 95/98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI ボードに接続されている SCSI 機器を Windows 95/98 上から確認するためのユーティリティです。

[スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [REX SCSI ユーティリティ] の [SCSI 機器確認] を起動します。



#### [ ホストアダプタ: ]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、この覧を [ rexpci32 ] が表示されるように変更してください。

#### [ デバイスリスト: ]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- ・ SCSI 機器 ID 番号 ( ID: )
- ・ ロジカルユニット番号 ( LUN: )
- ・ デバイスタイプ ( カッコ内 )
- ・ ベンダ名および型番

#### [ 再スキャン ]

[ ファイル ] メニューの [ 再スキャン ] は、SCSI 機器の電源を ON/OFF した後の最新情報を表示させるための機能です。

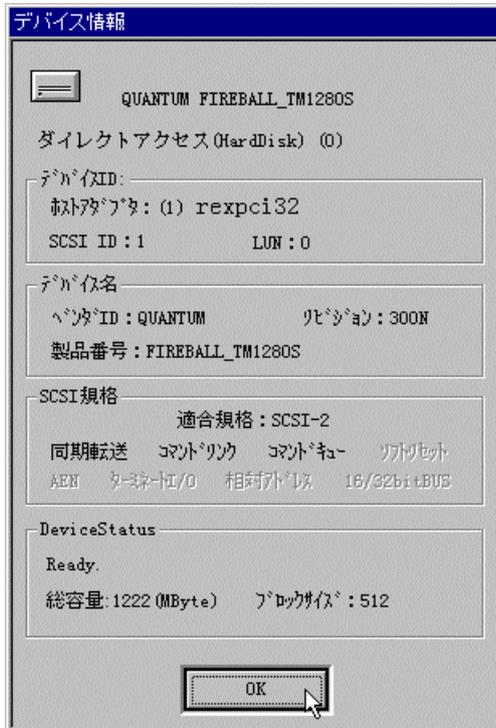
WinSSC を実行するときは、接続してある SCSI 機器の電源を ON にしてください。  
電源 OFF または SCSI ケーブル不良の場合、ホストアダプタ名に「REX-PCI32」が表示されません。

## 第7章 Windows 95/98 の SCSI ユーティリティについて

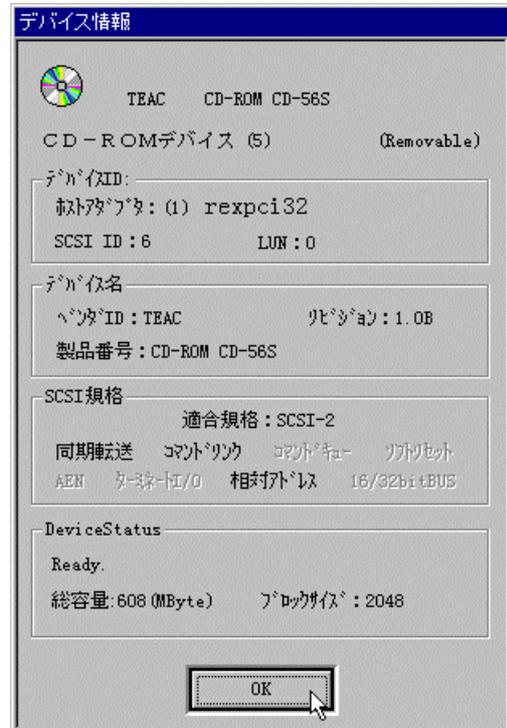
また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

### SCSI機器の詳細情報の例

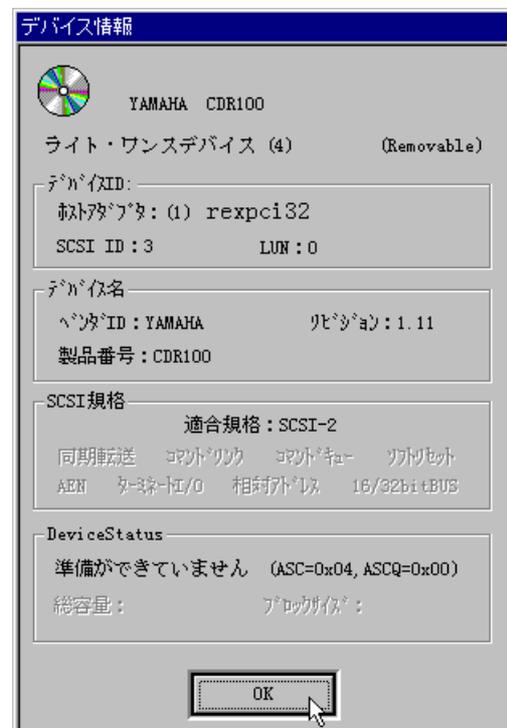
#### ハードディスクドライブの例



#### CD-ROMドライブの例



#### CD-ROM Writer の場合



空白ページ

## 8. Windows NT インストール済みにて使用する

Windows NT へのインストール手順を、Windows NT インストール済みのパソコンに REX-PCI32 を取り付ける場合で説明します。Windows NT3.51 のインストール手順は、Windows NT4.0 と手順は同様に行えますので省略します。また、Server および Workstation は同様に行えます。

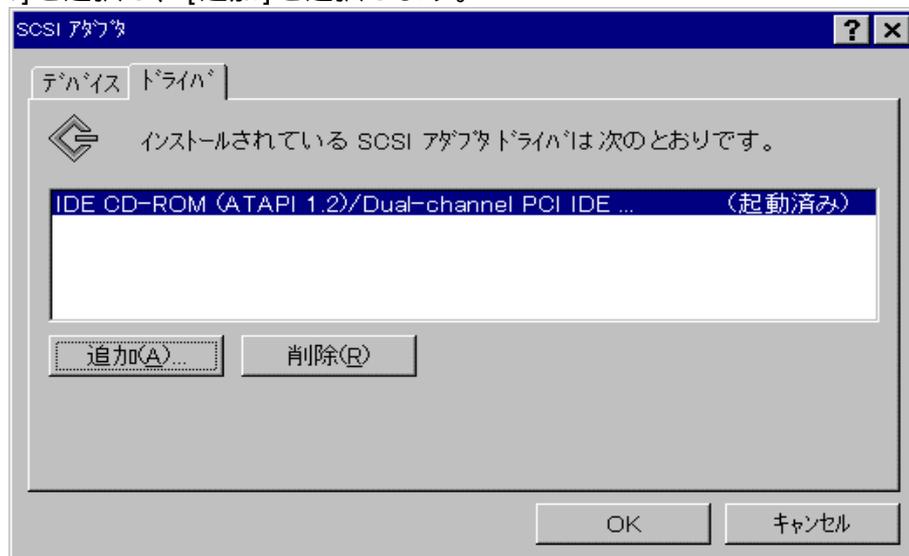
### Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加

既に Windows NT がインストールされている環境に REX-PCI32 のドライバを組み込む方法を説明します。この作業を進める前に SCSI ボード、SCSI ターミネータ、および Windows NT が正しくインストールされているかを確認してください。

1. パソコンの電源を入れ Windows NT セッションを Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始してください。
2. コントロールパネルから [SCSI アダプタ] のアイコンを起動します。

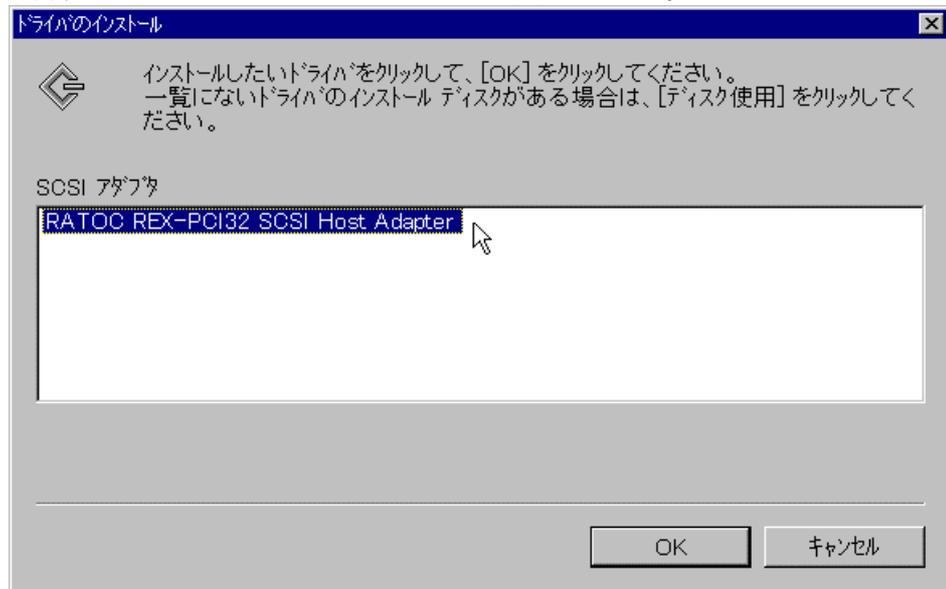


3. [ドライバ] を選択し、[追加] を選択します。

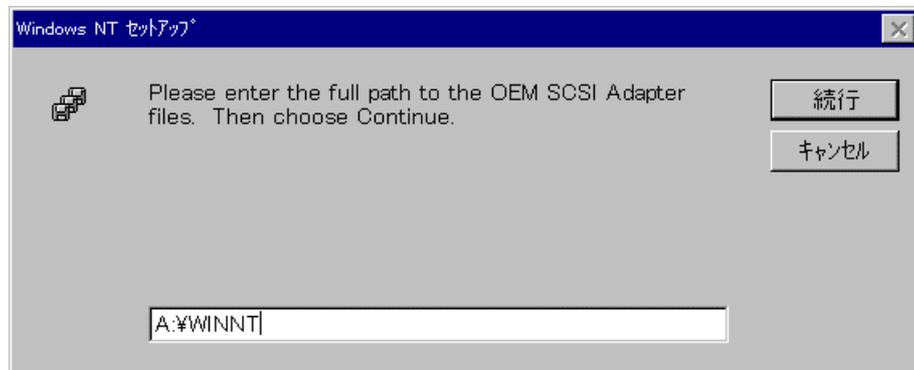


## 第 8 章 Windows NT インストール済みにて使用する

4. 追加するドライバの一覧から [ ディスクを使用 ] を選択し、ドライバディスクをセットし [ A:¥WINNT ] と入力します。セットアップダイアログで [ OK ] を選択します。PC-9821 の場合、フロッピーディスクドライブが異なります。



5. 再度ドライバのあるディレクトリを指定する画面になります。  
A:¥WINNT と入力してください。PC-9821 の場合ドライブ名が異なります。  
ドライバは DOS/V と共通です。



ファイルのコピーが完了するとシステム再起動画面になります。  
実行中のプログラムがないことを確認し、ドライバディスクを抜き再起動してください。

### ドライバ起動の確認

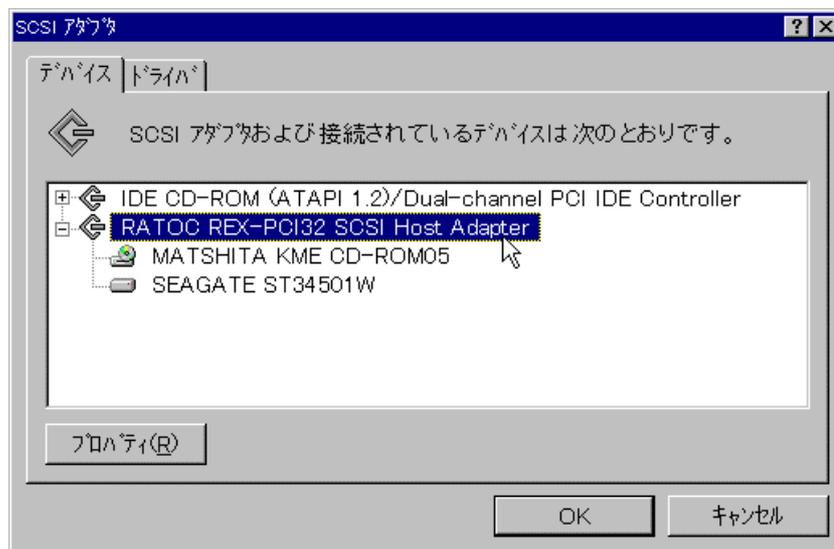
システム再起動時、エラーが出ないことを確認してください。

エラーが出た場合、スタートメニューの管理ツール（共通）のイベントビューワを起動して何がエラーを起しているか確認してください。

ここでは、ドライバが正しく動作しているかの確認方法について説明します。

再起動後、コントロールパネルの SCSI アダプタを再度起動し、[RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter]が追加されていることを確認してそれを更にダブルクリックすると接続してある SCSI 機器が表示されます。

各項目に異常がないか [プロパティ] を押して確認し [OK] を選択します。



ドライバのタグをクリックします。



## 第 8 章 Windows NT インストール済みにて使用する

また、システム全体から調査するには、スタートメニューから管理ツールの Windows NT 診断プログラムを起動します。[リソース]のタグで REX-PCI32 が IRQ のどれかに割り当たっていることを確認してください。



### ドライバの有効/無効の切り替え

資源の衝突等の問題でドライバの起動を一時的に無効にすることができます。

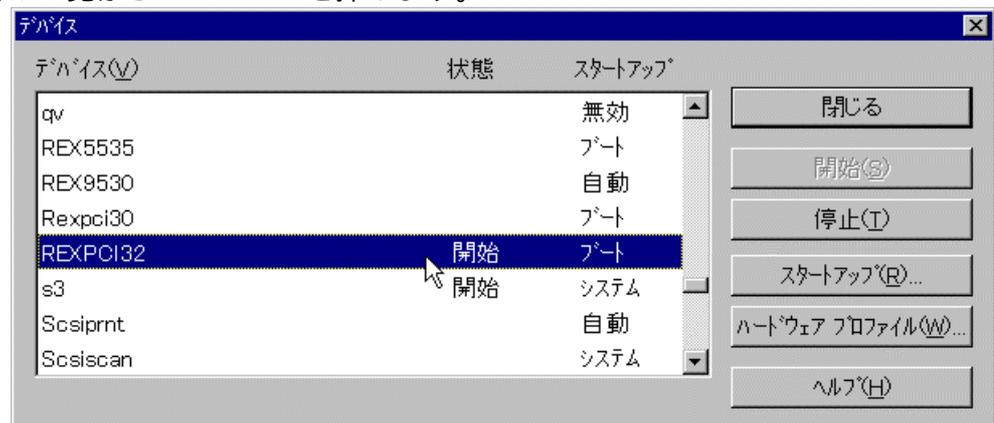
SCSI HD より Windows NT を起動している場合、無効の設定をすると再度 Windows NT が立ち上がらなくなりますので行わないでください。

もし、誤って無効の設定を行ってしまった場合は、Windows NT 起動時のメニューで前回のシステム構成に戻すを選択してください。

1. コントロールパネルの  
[デバイス]アイコンを  
起動します。



2. デバイスの一覧から REX-PCI32 を探します。



3. 状態が [ 開始 ] となっていれば、動作しています。

[ ハードウェアプロファイル ] を選択します。

次に、[ 無効 ] を選択します。

次回システム立ち上がり時、REX-PCI32 は動作しません。

REX-PCI32 と同じ資源を使用する拡張ボードが有効になる可能性があります。

### ハードディスクの使用方法

PC/AT 用 Windows NT4.0 では、ハードディスクのフォーマット形式が IBM 形式 (FDISK 形式) のみの対応となります。このため、それ以外のフォーマットで使用していた場合や未フォーマットの場合は、管理ツール (共通) のディスクアドミニストレータを使用してハードディスクを再フォーマットしてください。

[ ツール ] の [ フォーマット ] を選択してください。



### 光磁気ディスク (MO) の使用方法

マイコンピュータを開き [ リムーバブル ] のアイコンより使用します。

フォーマット時は、マイコンピュータを開き [ リムーバブル ] のアイコンを右クリックしフォーマットを選択します。フォーマット形式はスーパーフロッピーフォーマットになります。スーパーフロッピーフォーマットは他のシステムで互換性のあるものです。

フォーマットが完了したにも関わらず、パラメタエラーとなる場合、メディアの物理フォーマットを行い、Windows 95/98 または DOS/Windows 3.1 にて REXFMT95 または REXFMT を実行してください。

### CD-ROM のドライブ名変更方法

Windows 95 と同様、接続すれば自動的にドライブアイコンが表示されます。

ドライブ名を変更したい場合、スタートメニューから [ 管理ツール ( 共通 ) ] の [ ディスクアドミニストレータ ] を起動します。

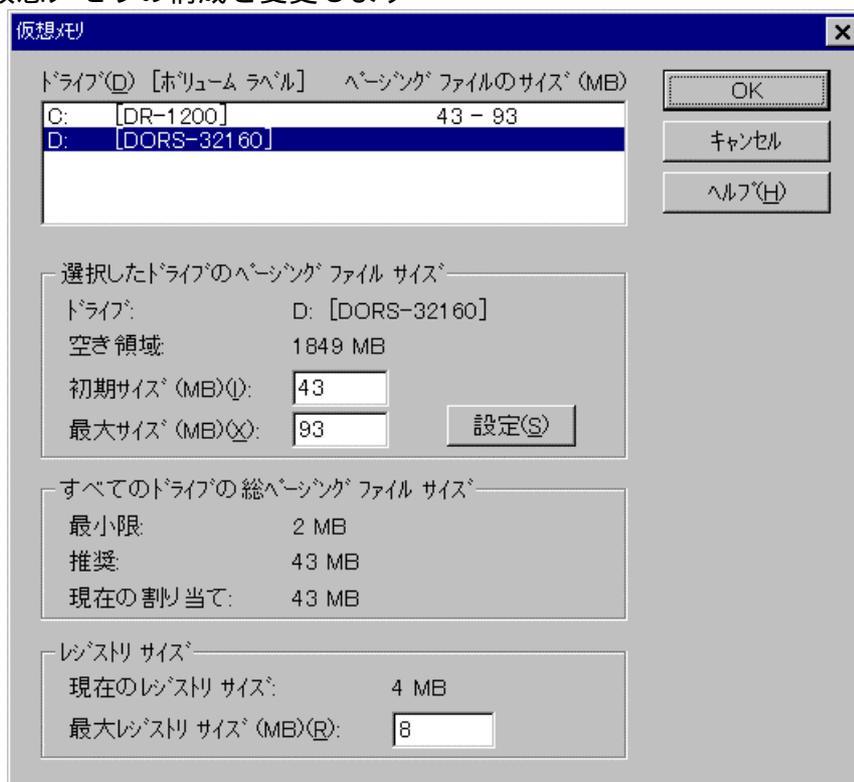
プルダウンメニューの [ ツール ] の [ ドライブ文字 ] を使用して CD-ROM ドライブのドライブ名を指定します。



### スワップファイルを SCSI ハードディスクに

この Step は SCSI ハードディスクより Windows NT4.0 を起動している場合、関係ありません。 EIDE ハードディスクより Windows NT4.0 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

1. マイコンピュータのアイコンを右クリックしプロパティを選択します。
2. システムのプロパティ [ パフォーマンス ] のタブを選択します。
3. [ 仮想メモリ ] の欄の [ 変更 ] を選択します。
4. 仮想メモリの構成を変更します



この例では、C ドライブが EIDE ハードディスクで D ドライブが SCSI ハードディスクです。

D ドライブの構成で初期サイズ、最大サイズを C ドライブと同様の容量を確保するとよいでしょう。

C ドライブの構成は “ なし ” に設定します。

5. システムを再起動してください。  
仮想メモリの設定が有効となります。

空白ページ

### 9. 新たに Windows NT をインストールする

この章では、Windows NT を SCSI ハードディスクに新規インストールする場合、および SCSI CD-ROM を使って新規インストールする場合で説明します。

Windows NT3.51 のインストール手順は、Windows NT4.0 と手順は同様に行えますので省略します。また、Server および Workstation は同様に行えます。

#### Windows NT4.0 のセットアップ開始

ここでは、REX-PCI32 と SCSI HD,SCSICD-ROM を導入して SCSI HD に Windows NT をインストールする方法を説明します。SCSI ハードディスクを使用すると EIDE タイプのハードディスクより、Windows NT の立ち上げ、およびアプリケーションの起動、他ユーザからのマルチタスク処理等が快適になります。

Windows NT4.0 のシステムフロッピーディスク (NO.1) をセットしてシステムリセットしてください。Windows NT4.0 のインストーラが立ち上がります。

Windows NT4.0 のシステムフロッピーディスクは 3 枚あります。さらに CD-ROM ドライブが必要です。CD-ROM は IDE タイプでも SCSI タイプでも使用できます。

もし、フロッピーディスクがない場合、以下の方法でフロッピーディスク 3 枚を作成できます。

1. 44MB のフォーマット済みフロッピーディスクを 3 枚用意します。

MS-DOS システム 6.2 または Windows 95 を立ち上げます。

CD-ROM にアクセスできるか確認します。

MS-DOS システム 6.2 の場合、

装着した REX-PCI32 に SCSI CD-ROM を接続してある場合、前章の「新たに Windows 95 をインストールする場合」の「SCSI CD-ROM を利用可能に」の項目に従って CD-ROM をアクセス可能にしてください。

CD-ROM ドライブの d:¥I386 にディレクトリを移動します。

(d は CD-ROM のドライブ名を示します)

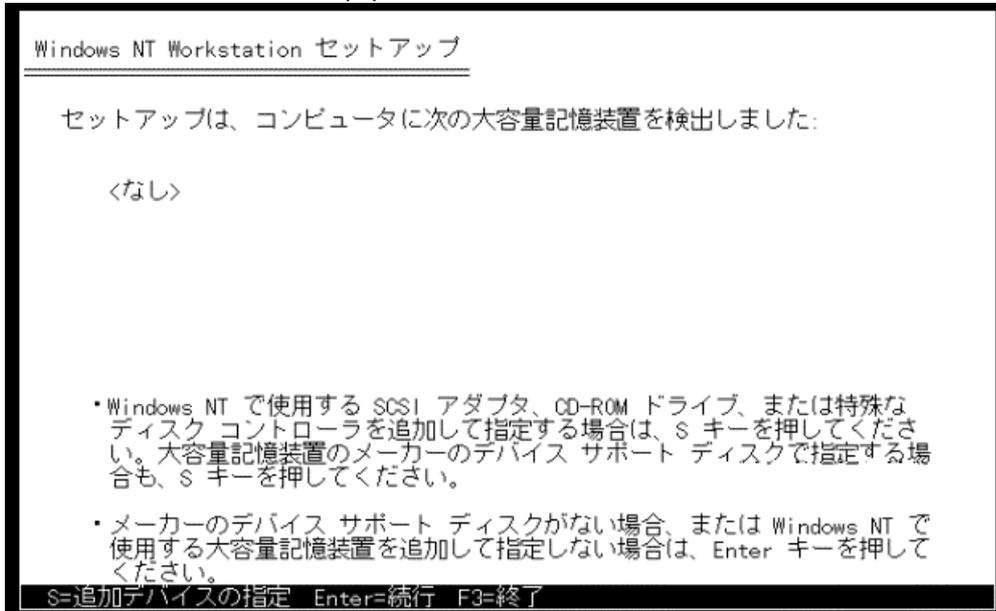
```
d:¥I386>WINNT /OX と入力してください。
```

指示されたフロッピーディスクをセットしてください。

Windows NT4.0 のシステムフロッピーディスク (NO.1) をセットしてシステムリセットしてください。Windows NT4.0 のインストーラが立ち上がります。

### REX-PCI32 ドライバのインストール

1. セットアップディスク NO.3 を実行中に “ SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、または特殊なディスクコントローラを追加して指定する場合  $\mu$  を入力してください ” の画面が表示されます。  $\mu$  を入力します。



2. ハードウェアメーカ提供のディスクを入れてくださいと表示され添付のドライバディスクをセットします。
3. どのドライバをインストールしますか? の選択で、

RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter  $\mu$  を選択します。

4. REX-PCI32 用のドライバが読み込まれます。その後 NO.3 のディスクに交換します。

あとは、指示に従って Windows NT ユーザ使用説明書を参照してインストールを行ってください。Windows NT 4.0 インストール先ディスクの選択で接続した SCSI ハードディスクが選択できれば、REX-PCI32 は正しく動作しています。

後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

これで終了です。次に、REX-PCI32 が正しく動作しているかの確認をしてください。

ドライバ起動の確認

システム再立ち上がり時、エラーが出ないことを確認してください。

エラーが出た場合、スタートメニューの管理ツール（共通）のイベントビューワを起動して何がエラーを起しているか確認してください。

ここでは、ドライバが正しく動作しているかの確認方法について説明します。

再起動後、コントロールパネルの SCSI アダプタを再度起動し、[RATOC REX-PCI32 SCSI Host Adapter]が追加されていることを確認してそれを更にダブルクリックすると接続してある SCSI 機器が表示されます。

各項目に異常がないか[プロパティ]を押して確認し[OK]を選択します。

また、システム全体から調査するには、スタートメニューから管理ツールの Windows NT 診断プログラムを起動します。

[リソース]のタグで REX-PCI32 が IRQ のどれかに割り当てられていることを確認してください。



### ハードディスクの使用方法

PC/AT 用 Windows NT4.0 では、ハードディスクのフォーマット形式が IBM 形式 (FDISK 形式) のみの対応となります。このため、それ以外のフォーマットで使用していた場合や未フォーマットの場合は、管理ツール (共通) のディスクアドミニストレータを使用してハードディスクを再フォーマットしてください。

[ ツール ] の [ フォーマット ] を選択してください。



### 光磁気ディスク (MO) の使用方法

マイコンピュータを開き [ リムーバブル ] のアイコンより使用します。

フォーマット時は、マイコンピュータを開き [ リムーバブル ] のアイコンを右クリックしフォーマットを選択します。フォーマット形式はスーパーフロッピーフォーマットになります。スーパーフロッピーフォーマットは他のシステムで互換性のあるものです。

フォーマットが完了したにも関わらず、パラメタエラーとなる場合、メディアの物理フォーマットを行い、Windows 95 または DOS/Windows 3.1 にて REXFMT95 または REXFMT を実行してください。

### CD-ROM のドライブ名変更方法

Windows 95 と同様、接続すれば自動的にドライブアイコンが表示されます。

ドライブ名を変更したい場合、スタートメニューから [ 管理ツール ( 共通 ) ] の [ ディスクアドミニストレータ ] を起動します。

プルダウンメニューの [ ツール ] の [ ドライブ文字 ] を使用して CD-ROM ドライブのドライブ名を指定します。



### 10. DOS/Windows 3.1で使用する

DOS/Windows 3.1 のインストール手順を SCSI ハードディスクの初期化作業より説明します。

SCSI ハードディスクを御使用頂くと EIDE タイプのハードディスクより、Windows 3.1 の立ち上げ、およびアプリケーションの起動、マルチタスク処理等が快適になります。まず、最初に Windows 3.1 を新規にインストールする場合の手順を示します。

Windows 3.1がインストールされておりREX-PCI32を使用可能にするのみの場合は、Windows 3.1で使用する、の作業を行ってください。

#### DOS システムのインストール (DOS/V)

MS-DOSまたはPC-DOSのシステムフロッピーディスクを用意します。

ここでは、例としてIDEハードディスクは接続されてなく、SCSIハードディスクをCドライブとしてここにインストールする場合について説明します。

1. インストールシステムディスクのNO.1をセットしてシステムリセットしてください。  
インストーラが立ち上がります。
2. 指示に従って、インストールを行ってください。  
インストールの中でFDISK.EXEおよびFORMAT.EXEが起動されます。  
画面の中で、FDISK.EXEでSCSIハードディスクが参照できれば、基本DOS領域の作成を行ってください。できない場合、ハードウェアの接続に問題があります。  
接続の確認は、SCSI-BIOSのSCSIコンフィギュレーション<Cntl + I>を使用して設定の確認ができることを確認してください。
3. SCSI CD-ROM、SCSI MO等を接続する場合、ASPIマネージャ(ASP950.SYS)をインストールします。またASPI対応CD-ROMドライバ、ASPI対応DISKドライバをインストールする必要があります。  
インストール方法は、後述の「CONFIG.SYSの書き換え」を参照してください。  
なお、Windows 3.1からこれらのドライバをインストールするユーティリティが用意されています。Windows 3.1システムのインストールを参照してください。

### DOS システムのインストール (PC-9821)

NEC MS-DOSのシステムフロッピーディスクを用意します。

ここでは、例としてIDEハードディスクは接続されてなく、SCSIハードディスクをAドライブとしてここにインストールする場合について説明します。

1. インストールシステムディスクのNO.1をセットしてシステムリセットしてください。

インストーラが立ち上がります。

2. 指示に従って、インストールを行ってください。

インストールの中でFORMAT.EXEが起動されます。

画面の中で、FORMAT.EXEでSCSIハードディスクが参照できれば、領域の作成を行ってください。できない場合、ハードウェアの接続に問題があります。

接続の確認は、SCSI-BIOSのSCSIコンフィギュレーション < Cntl + I > を使用して設定の確認ができることを確認してください。

3. FORMAT.EXEはVer 6.2以降のものをご使用ください。

Ver 6.2より前のものでは、2GBのパーティションを確保できなかつたり、4GBのハードディスクの2GBを超える場所にパーティションを割り当てたりできなくなります。

4. SCSI CD-ROM、SCSI MO等を接続する場合、ASPIマネージャ (ASP950N.SYS) をインストールします。またASPI対応CD-ROMドライバ、ASPI対応DISKドライバをインストールする必要があります。

インストール方法は、後項のCONFIG.SYSの書き換えを参照してください。

なお、Windows 3.1からこれらのドライバをインストールするユーティリティが用意されています。Windows 3.1システムのインストールを参照してください。

固定ディスク起動メニューについて (PC-9821)

固定ディスク起動メニュープログラム  
Copyright (C) NEC Corporation 1985,1995

処 理：領域の選択 (起動)

固定ディスク	# 1	1: Windows 3.1
SCSI固定ディスク	# 1	2: Windows 95
		3:

説明： ・ キー = 領域の選択    キー = 装置の選択    リターンキー = 起動  
f・1 キー = 自動起動の解除    \* は自動起動に設定された領域です

SCSI固定ディスク #nが表示されれば接続されています。

固定ディスク起動メニューを表示させるには、TABキーを押しながらリセットボタンを押してください。

CONFIG.SYS の書き換え

本製品添付の SCSI ボード用の各種ドライバを CONFIG.SYS に登録します。  
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REX-PC132----  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥ASP950.SYS /L /D  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXCD.SYS /D:MSCD001  
DEVICE=C:¥REXSCSI¥REXDISK.SYS
```

**ASP950.SYS** (DOS/V 用)

**ASP950N.SYS** (PC-9821 用)

REX-PC132 SCSI ボードのASPI マネジャ。

**REXCD.SYS**

ASPI仕様のCD-ROMドライバ (ASPIモジュール)。

**REXDISK.SYS**

ASPI仕様のハードディスク/MO用ディスクドライバ (ASPIモジュール)。

WIDE SCSIに対応していません。SCSI ID-NOは、0-6でご使用ください。

## 第 10 章 DOS/Windows 3.1 で使用する

### AUTOEXEC.BAT の書き換え

DOS システムの CD-ROM エクステンションを AUTOEXEC.BAT に登録します。  
例えば次のような記述を追加します。

```
REM ----REX-PC132----  
C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001
```

### Windows 3.1 で使用する

DOS より CD-ROM をアクセスできるようになれば、Windows 3.1 のセットアップを行ってください。セットアップ終了後、ASPI マネージャ、ASPI 対応 CD-ROM ドライバ、ASPI 対応 DISK ドライバ、WINASPI モジュールのインストールを行います。  
スキャナ、フィルムスキャナ、CD-R 等を使用する場合、WINASPI モジュールが必要な場合があります。

1. 添付のドライバディスクより、ルートディレクトリの SETUPW31.EXE を起動します。



2. 以下のセットアップ画面が表示されます。



機種を選択して、OK を押してください。

3. インストール設定画面が表示されます。



設定を確認して OK を選択してください。

4. WINASPI の有無、MSCDEX.EXE の有無等の設定を行います。



設定を確認後、OK を押してください。

WINASPI の組み込みを選択すると SYSTEM.INI ファイルに次の行が追加されます。

```
[ 386Enh ]セクション  
device=vaspi rex.386
```

5. ファイルのコピーが開始されます。  
コピー終了後、システム再起動してください。

### ASP950.SYS - ASPI マネジャ

REX-PC132 SCSI ボードのDOS/V用ASPIマネジャです。

#### ASP950.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP950.SYS [/L] [/D]
```

#### オプション

/L

LUN(Logical Unit NO)の取り扱いを指定します。デフォルトはLUN=0のみサーチします。

PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。

/D

このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。

表示項目としてI/Oポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

### ASP950N.SYS - ASPI マネジャ

REX-PC132 SCSI ボードのPC-9821用ASPIマネジャです。

#### ASP950N.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP950N.SYS [/L] [/D]
```

#### オプション

/L

LUN(Logical Unit NO)の取り扱いを指定します。デフォルトはLUN=0のみサーチします。

PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。

/D

このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。

表示項目としてI/Oポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

**REXCD.SYS - CD-ROM ドライバ**

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するCD-ROMデバイスドライバです。

**REXCD.SYS の書式**

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]
[/ScanID:id+id+....] [/NoScanID:id+id+....] [/N:1] [/E] [/HA:0]
```

**オプション**

**/D:<デバイス名>**

この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。

**/U:1**

接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。

CD-ROM ドライブが 1 台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。

このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

**/ScanID:id+id+....**

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。

REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

**/NoScanID:id+id+....**

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

**/N:1**

接続する CD-ROM ドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型の CD-ROM ドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。また、CD-Changer 等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

**/E**

ドライバの表示メッセージを英語にします。

英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

**/HA:0**

## 第 10 章 DOS/Windows 3.1 で使用する

---

対象とするホストアダプタの番号を指定します。  
省略した場合、0（1 枚目）が仮定されます。

### REXCD.SYS の表示メッセージ

```
ASPI マネージャ対応 CD-ROM デバイスドライバ  
REX-CD Ver x.xx yymmdd  
RATOC System,inc. 1997. Osaka Japan.
```

```
ASPI CD-ROM Device Driver  
REXCD.SYS Ver x.xx (yymmdd)
```

意味 ・ ドライバ起動メッセージ。

```
CD-ROM SCSI_ID : 6:NEC PC-CD170  
デバイス名 : MSCD001
```

```
CD-ROM SCSI_ID : 6:NEC PC-CD170  
Device name : MSCD001
```

意味 ・ SCSI-IDが「6」の「NEC PC-CD170」を認識した。  
・ CD-ROM デバイス名に「MSCD001」を割り当てた。  
・ ドライバが正常に常駐した。

```
CD-ROMドライブを見つけることができませんでした。
```

```
CD-ROM Drive Not Found.  
Driver Unloaded.
```

意味 ・ SCSI バス上に接続されている CD-ROM ドライブを認識できなかった。

原因 ・ CD-ROM ドライブの電源が入っていない。  
・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。  
・ SCSI ターミネータが装着されていない。  
・ CD-ROM ドライブからタームパワーが供給されていない。

対処 ・ CD-ROM ドライブの設定を確認します。  
・ SCSI ケーブルの接続を確認します。

```
ASPI マネージャが登録されていません。
```

```
ASPI Manager Not Installed.  
Driver Unloaded.
```

意味 ・ ASPI マネージャが正常に起動していない。  
原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルへの「REXCD.SYS」を登録する位置が不正。  
対処 ・ ASPI マネージャより後ろの行に登録します。  
原因 ・ ASPI マネージャが起動に失敗している。  
対処 ・ ASPI マネージャの設定や SCSI 機器の設定を確認します。

**REXDISK.SYS - ハードディスク/MO ディスクドライバ**

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバです。

**サポートしているメディアについて**

本ドライバがサポートしているメディアは以下のとおりです。

メディア	対応フォーマットおよび制限
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDISK形式ハードディスクフォーマット 最大ディスク容量7.8Gバイトまで</li> <li>・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット(注1) 最大ディスク容量2Gバイトまで</li> <li>・ 物理セクタサイズ512バイトのみに対応</li> </ul>
3.5インチ光磁気ディスク	128MB/230MB/540MB/640MB (倍密) 容量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDフォーマット(スーパフロッピーフォーマット)</li> <li>・ FDISK形式ハードディスクフォーマット</li> <li>・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット(注1)</li> <li>・ 物理セクタサイズ512バイトと2048バイトに対応</li> </ul>
5インチ光磁気ディスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDISK形式ハードディスクフォーマット</li> <li>・ FDフォーマット(スーパフロッピーフォーマット)</li> </ul> 以下のフォーマットはサポートしていません <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット</li> </ul>
リムーバブルHD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDISK形式ハードディスクフォーマット</li> <li>・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット</li> <li>・ FDフォーマット(スーパフロッピーフォーマット)</li> </ul>

(注1) NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット

このフォーマットは、NEC 製 SCSI インターフェイスカードに接続して NEC 版 MS-DOS の FORMAT.EXE で初期化したディスクのフォーマットを意味します。

FORMAT.EXE で初期化したディスクでも他の SCSI インターフェイスカードを使用した場合にはフォーマットの互換性がない場合もありますので注意が必要です。

**REXDISK.SYS の書式とオプション**

**書式**

```

DEVICE=<ディレクトリパス>%REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+...] [/LOCK | /UNLOCK]
          [/A] [/DUMMY] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+...]
          [/NoScanID:id+id+...] [/Hxx[:id+...]] [/E] [/HA:0]
    
```

### オプション

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク (MO) 等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライバ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク (MO) 等の取り外し可能なメディア用のドアのロック / アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/A   メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

/DUMMY

PC-DOS J6.1/V のディスク圧縮機能による不具合を回避するための指定です。

これにより、実際に割り当たるより 1 論理ドライブ余分に論理ドライブを確保します。ただし、余分に割り当たったドライブにはアクセスできません。

たとえば、REX-PCI32 に接続された機器で 4 ドライブ有効な場合、「/DUMMY」を指定すると以下のようになります。

A	フロッピー (1.44MB モード)	
B	フロッピー (1.44MB モード)	
C	内蔵ハードディスク	
D	フロッピー (1.2MB モード)	
E	フロッピー (1.2MB モード)	
F	SCSI 接続のハードディスク (区画 1)	
G	SCSI 接続のハードディスク (区画 2)	
H	SCSI 接続のハードディスク (区画 3)	
I	SCSI 接続のハードディスク (区画 4)	
J	ディスク圧縮機能との不具合回避用	x
K 以降	ディスク圧縮ドライブ	

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

**光磁気ディスク(MO)を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。**

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク / 光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/Hxx[:id+id+....]

このオプションは NEC PC-9821 シリーズ用の各種 SCSI インターフェイスカードを使用して初期化されたディスクを再フォーマットせずに認識させようとした場合に、REXDISK が認識しないときに指定します。

「/H」に続けてフォーマット形式と対象とするドライブの SCSI ID を指定します。

「xx」のフォーマット形式は以下のいずれかを指定します。

指定値	対象フォーマット
92	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-92)によるもの
55	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-55)によるもの
S2	サードパーティ製 (ICM等)SCSIインターフェイスカード
MELCO	サードパーティ製 (MELCO等)SCSIインターフェイスカード
FMO	REXFMT v1.xx でNEC HD形式にフォーマットしたMO

ドライブの SCSI ID を省略した場合は、すべてのドライブが対象になります。

ただし、NEC HD 形式以外でフォーマットされているディスクは対象外になります。

/E       ドライバの表示メッセージを英語にします。

英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0 (1 枚目) が仮定されます。

### PC-DOS J6.1/V での制限について

REXDISK.SYSはIBMのPC-DOS J6.1/V で使用した場合に、以下の不具合が発生することがわかっています。

PC-DOS J6.1/V でディスクの圧縮機能が組み込まれており、「REXDISK.SYS」に3個以上の論理ドライブが割り当てられた場合、最終ドライブにアクセスできなくなる。

これを回避するには、「REXDISK.SYS」に「/DUMMY」オプションを指定して余分に1ドライブ確保するか、ディスク圧縮機能を完全に排除するためPC-DOS J6.1/V の再インストールを行う必要があります。

また、ディスク圧縮機能を取り除く作業は「FDISK」によるハードディスクの再区画設定も伴います。一旦、起動ドライブのデータが完全に消去されるため、ファイルのバックアップ等を行ってから作業を行ってください。

PC-DOS J6.1/V 以外のディスク圧縮機能（PC-DOS J6.3/V 等）の場合には、このような不具合は発生しません。

### REXDISK.SYS の表示メッセージ

```
A S P I マネージャ対応   ハードディスク・MO デバイス ドライバ
      R E X D I S K   Ver x.xx (yymmdd)
Copyright(C) RATOC system, inc. 1997. Osaka, Japan.
```

```
ASPI Disk Device Driver
REXDISK.SYS Ver x.xx (yymmdd)
(c) Copyright 1997 RATOC system, inc. Osaka, Japan
```

意味 ・ ドライバ起動メッセージ。

SCSI ID	デバイスタイプ	割り当てドライブ
#0	Hard Disk	F: G:
#4	Removable Media(MO)	H:

SCSI ID	Device Type	Drive
#0	Hard Disk	F: G:
#4	Removable Media(MO)	H:

- 意味 ・ SCSI-ID が「0」のハードディスクを認識してドライブ「F:」と「G:」に割り当てた。  
・ SCSI-ID が「4」の光磁気ディスクを認識してドライブ「H:」に割り当てた。  
・ ドライバが正常に常駐した。

ハードディスク・MOドライブを見つける事ができませんでした。  
ドライバは登録されません。

```
Hard Disk / MO Drive Not Found.
Driver Unloaded.
```

意味 ・ SCSI バス上に接続されているハードディスクドライブまたは光磁気ディ

スクドライブを認識できなかった。

- 原因
- ・ドライブの電源が入っていない。
  - ・SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
  - ・SCSI ターミネータが装着されていない。
  - ・ドライブからタームパワーが供給されていない。
  - ・ディスクが「REXDISK.SYS」の認識できるフォーマットでない。

- 対処
- ・ドライブの設定を確認します。
  - ・SCSI ケーブルの接続を確認します。
  - ・「REXFMT.EXE」を実行してディスクをフォーマットしてみます。

(注意) REXFMTでフォーマットするとディスクのデータはすべて消えます。

ASPI マネジャが登録されていません。

ASPI Manager Not Installed.  
Driver Unloaded.

- 意味
- ・ASPI マネジャが正常に起動していない。
- 原因
- ・「CONFIG.SYS」ファイルへの「REXDISK.SYS」を登録する位置が不正。
- 対処
- ・ASPI マネジャより後ろの行に登録します。
- 原因
- ・ASPI マネジャが起動に失敗している。
- 対処
- ・ASPI マネジャの設定や SCSI 機器の設定を確認します。

### MSCDEX.EXE - CD-ROM エクステンション

CD-ROMドライブをMS-DOSから使用可能なドライブにするためのコマンドです。

#### ご注意

このプログラム自体は、本製品には含まれておりません  
MSCDEXはマイクロソフト社の製品で以下のものを別途ご用意ください。

- ・MS-DOS 6.2/V, PC-DOS 6.3/V, PC-DOS 7.0/Vに添付のもの
- ・NEC版MS-DOS 6.2またはNEC版Windows 3.1に添付のもの
- ・CD-ROMドライブに添付のもの

### MSCDEX.EXE の書式とオプション

#### 書式

MSCDEX /D:<デバイス名> [/L:<ドライブ名>] [/M:<メモリサイズ>]

#### オプション

/D:<デバイス名>	CD-ROMデバイスドライバ名につけられたデバイス名を指定します。
/L:<ドライブ名>	CD-ROMドライブに割り当てるMS-DOSのドライブ名を指定します。システムで予約されているドライブ名以降で「LASTDRIVE」で指定したドライブ名までの間で指定可能です。
/M:<メモリサイズ>	CD-ROMアクセス用のディスクバッファのサイズをキロバイト単位で指定します。

### MSCDEX.EXE の表示メッセージ

```
MSCDEX Version 2.23
Copyright(C) Microsoft Corp. 1986,1987,1988,1990 All right reserved.
Drive L: = Driver MSCD001 unit 0
```

意味 ・ ドライバが正常に常駐した

```
Device driver not found:'MSCD001'
No valid CDROM device drivers selected
```

- 意味 ・ CD-ROM デバイス「MSCD001」が常駐していない。
- 原因 ・ 「REXCD.SYS」が起動していないか、エラーでアンロードされている。
- 対処 ・ 「REXCD.SYS」が正常に起動するよう CONFIG.SYS ファイルを修正します。
- 原因 ・ 「REXCD.SYS」の「/D:」オプションに指定したデバイス名が、「MSCDEX」の「/D:」オプションに指定したデバイス名と一致していない。
- 対処 ・ CONFIG.SYS ファイルの「DEVICE=REXCD.SYS」行「/D:」オプションに指定したデバイス名を確認して、AUTOEXEC.BAT ファイルの「MSCDEX」行「/D:」オプションのデバイス名をそれに一致させます。

```
Not enough drive letters available
```

- 意味 ・ CD-ROM ドライブに割り当てる MS-DOS のドライブ名が無効。
- 原因 ・ 「MSCDEX」コマンドの「/L:」オプションに指定したドライブ名が、すでに他のデバイスに割り当たっている。
- 対処 ・ 「/L:」オプションに指定したドライブがネットワークドライブ等に割り当たっていないか確認します。
- 原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルの「LASTDRIVE=」に指定した値以降のドライブ名を「/L:」オプションのドライブ名に指定している
- 対処 ・ 「LASTDRIVE=」の値または「/L:」オプションの値を変更します。



## 第 11 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

ハードディスクのフォーマットを実行します。

### 書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化

#### 書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /MO:[ FD | IBM | NEC ] [ /INIT ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

光磁気ディスク(MO)のフォーマットを実行します。

### 書式 3 - 区画の確保

#### 書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /PAT[<:確保容量>] [/Hxx]  
[ /LABEL:<ボリュームラベル>]  
[ /KNAME[<:区画名>] ] [ /SLEEP | /ACTIVE ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクに区画を確保します。

### 書式 4 - 区画の削除

#### 書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /DEL:<区画番号> [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクから区画を削除します。

### 書式 5 - 区画属性の変更

#### 書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [ /SLEEP:<区画番号> | /ACTIVE:<区画番号> ]  
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

NEC HD形式でフォーマットしたメディアの区画属性を変更します。

### SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド

REX-PCI32に接続されているSCSI機器を確認するためのコマンドです。

このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。

WIDE-SCSI機器を接続の場合、SSCW.EXEをご使用ください。

ID番号15まで順番にスキャンします。

#### 書式

```
SSC [%Adapter_No] [#SCSI_ID]
```

%Adapter\_No      ホストアダプタ番号を指定します。  
                    この指定は、REXFMT.EXE と同様です。

#SCSI\_ID          対象 SCSI 機器の SCSI-ID 番号を指定します。  
                    省略時は、ID 番号 0 から 6 まで順番にスキャンして表示します。



## 12. 仕様について

この章では、SCSI に関する補足説明を行います。

## REX-PCI32 SCSI ・ BUS 仕様

項目	内容
SCSIインターフェイス	Ultra WIDE SCSI シングルエンド データバス幅16ビット 最大同期転送速度 40MB/Sec (理論値)
インターフェイス	32ビットPCIバス Rev 2.1以降
データ転送方式	バスマスタ・バースト転送
SCSI外部コネクタ	ハーフピッチ50ピン (ピンタイプ)
SCSI内部コネクタ	68ピンSCSI-3 Pコネクタ 50ピンフラットケーブルタイプコネクタ (2.54ピッチ50Pヘッダ)
I/Oアドレス	100hバイト xx00h ~ xxFFh PCI BIOSより割り当て
BIOSメモリ	32Kメモリ空間 PCI BIOSより割り当て

## REX-PCI32 環境仕様

項目	内容
DC電圧	5.0V ± 5%
消費電力	通常1000 mW
サイズ	奥行き127mm × 高さ85mm (突起物を除く)
周囲温度	0 ~ 55
相対湿度	10% ~ 90%

結露しないこと

空白ページ

## 13 . トラブルシューティング

## Windows 98 の起動ディスクより SCSI CD-ROM を使う場合 (DOS/V)

Q:

Windows 98 の起動ディスクより、REX-PCI32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたいのですが、Adaptec 社と Mylex 社の SCSI Board しか選択できません。

A:

- 1 . Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前 :

変更後 :

[ADAPTEC]

device=himem.sys /testmem:off

device=aspi2dos.sys - &gt; 削除

device=aspi8dos.sys - &gt; 削除

device=aspi4dos.sys - &gt; device=asp950.sys

device=aspicd.sys /D:miscd001

- 2 . Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys を削除します。
- 3 . REX-PCI32 のドライバディスクの AT ディレクトリより asp950.sys を、Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。
- 4 . Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Adaptec を選択します。以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。NEC PC-9821 の場合、IDE CD-ROM より SETUP を行います。

## データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q:

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A:

- ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
- ・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- ・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。  
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。  
SCSI 機器の台数を減らしてみてください。
- ・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。  
SCSI コンフィギュレーションの SCSI-BIOS の設定を実行して手動設定してください。

### IDE の CD-ROM が使えない場合

Q:

IDE の CD-ROM が使えなくなりました。

A:

使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

### SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合

Q:

SCSI ボードが起動しません。(SCSI-BIOS スタート画面が表示されない)

A:

PCI スロットにしっかり装着されていない場合がよくあります。

PCI スロットを搭載した初期のパソコンでよく起こります。

これはパソコンが完全にプラグアンドプレイに対応していないために発生します。

パソコンのシステム BIOS の変更を起動 (パソコン起動時に何を押しせば起動できるか表示されています) して PCI スロットの構成変更を行ってください。

そこで、PCI スロットの番号 (REX-PCI32 をセットしたスロット番号) の定義に、割り込み番号を IRQ=11 を、I/O アドレスを FF00H に予約定義してください。

システム BIOS の変更を終了するとき構成を保存してください。

### SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合

Q:

SCSI 機器に対して転送速度を設定したい。

A:

オペレーティングシステムでの設定は、有効となりません。

Windows 95 のデバイスマネージャのディスクドライブのプロパティ表示での「同期データ転送」設定は有効となりません。

SCSI-BIOS の設定を使用して、転送方式の項目で該当する SCSI 機器の速度に設定してください。

### FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU M0 を採用している M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A:

SCSI-BIOS の設定から、最大同期転送速度を 10MB/s に設定してください。

### HD/M0 のドライブアイコンが表示されない場合

Q:

マイコンピュータに HD/M0 のドライブアイコンが表示されません。

A:

多くの原因は、未フォーマットのドライブを接続している場合や DOS/Windows 3.1 で認識可能なディスクのフォーマットが Windows 95 で認識できないフォーマットになっている場合です。

ディスクの再フォーマットによって認識可能になります。ただし、DOS/Windows 3.1 で使用していたディスクを再フォーマットする場合は、中身のデータが失われますので必要に応じて別のパソコンでバックアップを取った後に行ってください。

### ドライバがインストールされていないとなる場合

Q:

ドライバのインストールが正しく行われたにも関わらず、プロパティの画面でインストールされていないと表示され黄色の (!) エクスクラメーションマークになります。

A:

SCSI 機器との転送不具合の場合にこのようになります。

一度 SCSI 機器の電源を OFF にして立ち上げます。ドライバのプロパティが正常に動作していませんと表示されていることを確認し、システム再起動して SCSI-BIOS の設定から最大同期転送速度を現在の設定値より小さな値に設定してください。

### PC-9821 に接続したハードディスクの容量が正しく認識されない場合

Q:

従来から使用していた SCSI ハードディスクを認識できたが、容量等が正しく認識されず内容も表示されません。

A:

ハードディスクフォーマットのパラメタが異なるために起こります。  
お手数ですが、以前の環境でデータのバックアップを行ってから REX-PCI32 にてハードディスクのフォーマットを行ってください。

### 全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合

Q:

コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A:

16 ビット版 ASPI マネージャ (ASP950.SYS, ASP950N.SYS) が登録されているためです。  
CONFIG.SYS を編集して ASP950.SYS または ASP950N.SYS をコメントにしてください。

### DOS/Windows 3.1 で PD、Changer の一部が認識できない場合

Q:

DOS/Windows 3.1 で PD の CD-ROM が使用できない。または Changer の 2 枚目以降が使用できない。

A:

ASP950.SYS または ASP950N.SYS の /L オプションを付加してください。

### ドライブが割り当たらない場合

Q:

REXFMT95 で再フォーマットを行ったが、ドライブ (ドライブ名) が割り当てられません。どのようにすれば使用できるのでしょうか。

A:

初期化を行ったあと、パーティションの作成 (区画作成) を行ってください。

### その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。  
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。  
ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。ドライバディスクをセッ  
トしドライバの場所を選択してインストールします。

### その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。  
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI Brige を選択し、削除キーを押してください。  
システム再起動により “新しいハードウェア” の画面が表示されます。  
後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

### PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q:

ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしてありません。

A:

PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。  
[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。  
また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

### PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合

Q:

PC98-NX (Fine を除く) で REX-PCI32 に接続したハードディスクより起動したいのですがどうすればできますか。

A:

DOS/V と同様、内蔵 HD を未接続 (プライマリマスタをなし) にして (または取り外して) しまえば可能ですが、内蔵 IDE を D: ドライブとして使用することが可能です。

1. システム起動画面で「F2」を押して BIOS セットアップ画面を表示します。
2. 「起動」のタグより 1. ~ 4. の中に [取外し可能デバイス] があることを確認します。
3. 「ハードディスク」を選択します。 1. に [その他の起動ドライブ] がくるように設定します。
4. 設定を保存してシステム再起動してください。SCSI ハードディスクより起動を開始します。 [起動時のメニュー] が表示されるようになります。Enter を押してください。

### EMM386 no installed unable to set page frame base address となる場合

Q:

「EMM386 no installed unable to set page frame base address」と表示されます。  
COMPAQ の DESKPRO シリーズ等の場合起こります。

A:

EMM386.EXE のオプションに「 /NOEMS 」を追加してください。

### SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCI32 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

Windows NT の場合、ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。

Windows 95 の場合、システムプロパティで MO, CD-ROM 等はドライブ名の変更ができますが HD はできません。REX-PCI32 の SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」の項目を No : にします (コントロールしない)。

### SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合

Q:

REX-PCI32 の起動画面を表示しないようにしたい。

A:

DOS/V、PC-9821 とともに起動画面を表示しないようにできません。必ず表示されます。

表示されない場合、パソコンが REX-PCI32 を認識していません。

SYSTEM-BIOS の種類によっては、表示が崩れる場合もありますが、動作に問題ありません。また、SCSI-BIOS を無効(Disable)にできますが、非表示にはできません。

### Windows 95 のドライバを間違えた場合

Q:

PC-9821 の場合、ドライバディスクのルートディレクトリにドライバを移動してからインストールしなければならないのですが行っていません。しかし動作しています。

A:

DOS/V 用のドライバが組み込まれています。

MO を使用する場合、問題が発生する可能性があります。

ドライバの削除を行った後は、ドライバの更新を行って PC-9821 対応のドライバをインストールしてください。

### SCSI-2 と表示される場合

Q:

Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A:

適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返せば、「SCSI-3」と表示されます。

RATOC REX-PCI32 質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名			
	所属・部署			
氏名				
住所	〒			
TEL		FAX		
製品型番			シリアル番号	
販売店名			購入年月日	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名			
使用 OS	Windows 95 DOS/Windows	Windows 98 その他	Windows NT
その他のボード			
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。		

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS      AUTOEXEC.BAT      SYSTEM.INI

Win95 デバイスマネジャのシステム概要 <sup>1</sup> Windows NT 診断プログラムのレポート <sup>2</sup>

1 デバイスマネジャのシステム概要 (Windows 95 のみ)

- (1) デバイスマネジャから[印刷(N)...]ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

2 Windows NT 診断プログラムのレポート (Windows NT のみ)

- (1) Windows NT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) すべてのタブ、詳細レベル概要を選択して [OK] ボタンを押します。ファイルに出力してメールにて送信できます。